

高浜発電所及び大飯発電所  
環境影響監視結果

(令和2年度)

京 都 府



# 目 次

はじめに	1
環境影響監視結果の概要	2
調 査 結 果	
1 調査の概要	5
(1) 調査内容	5
(2) 調査実施機関	6
(3) 調査期間	6
2 環境放射線監視調査結果	15
(1) 空間放射線空気吸収線量率等	15
(2) 気象観測	16
(3) 環境試料の核種分析	17
3 温排水影響調査結果	54
分布調査	54
参 考 資 料	
1 全国の自然放射線量	65
2 原子力発電所運転・建設等状況	66
3 高浜発電所運転状況	69
4 高浜発電所放射性廃棄物放出実績	72
5 高浜発電所及び大飯発電所に関する環境測定技術検討委員会要綱	76
6 調査の目的	79
7 測定結果の評価について	81
8 用語の説明	82



## は　じ　め　に

京都府では、府民の健康と安全を守るため、府域に隣接して立地する関西電力株式会社高浜発電所及び大飯発電所の周辺環境への影響について監視を実施しています。

高浜発電所 1 号機の運転開始に先立つ昭和 4 8 年度からの監視開始以降、環境放射線テレメータシステムの整備・拡充や環境試料の調査項目の追加等、監視体制の充実強化を図ってまいりましたが、平成 2 3 年 3 月に発生した福島第一原子力発電所の事故を契機として、大飯発電所による周辺環境への影響についても監視しております。

これらの監視の実施等に当たっては、高浜発電所及び大飯発電所に関する環境測定技術検討委員会（放射線に関する有識者等の意見を聴取する会議）を設置し、令和 2 年度の監視結果について、「周辺環境に対する影響は認められず、環境安全上問題はなかった。」との意見をいただいております。

本書は、令和 2 年度の監視結果について、府民の皆様の参考にしていただくため公表するものです。

## 環境影響監視結果の概要

令和2年度に実施した高浜原子力発電所及び大飯原子力発電所周辺の環境影響監視結果の概要は次のとおりでした。

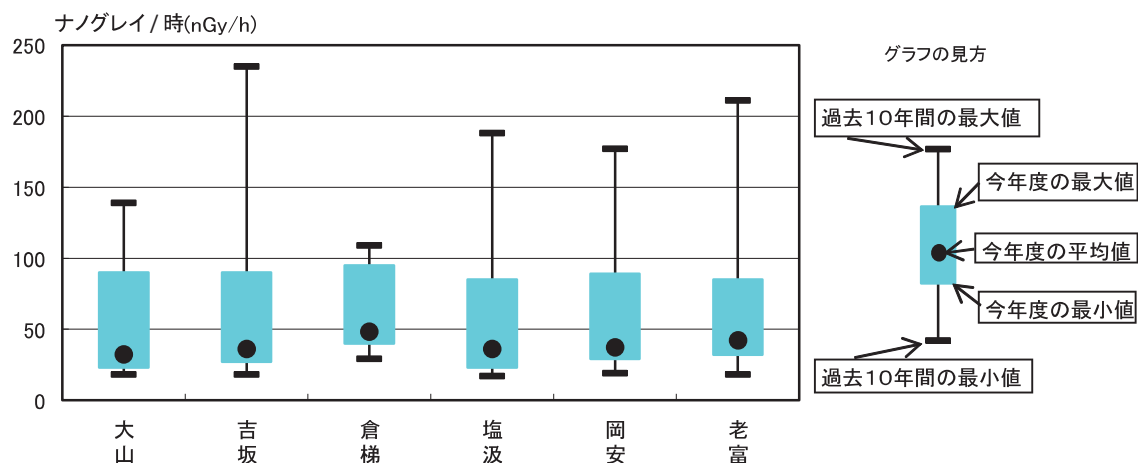
### 1. 環境放射線監視結果

#### ☆空間線量モニタリングについて

##### 空間放射線量率

放射線測定所(14か所:舞鶴市内6か所、綾部市内3か所、伊根町内1か所、宮津市内1か所、南丹市内2か所、京丹波町内1か所)において、空間放射線が1時間あたりどのくらいであるかを測定しています。

各地点の測定結果は、すべて異常は認められず、安全上問題ありませんでした。なお、代表的な地点について測定結果をグラフに示しました。



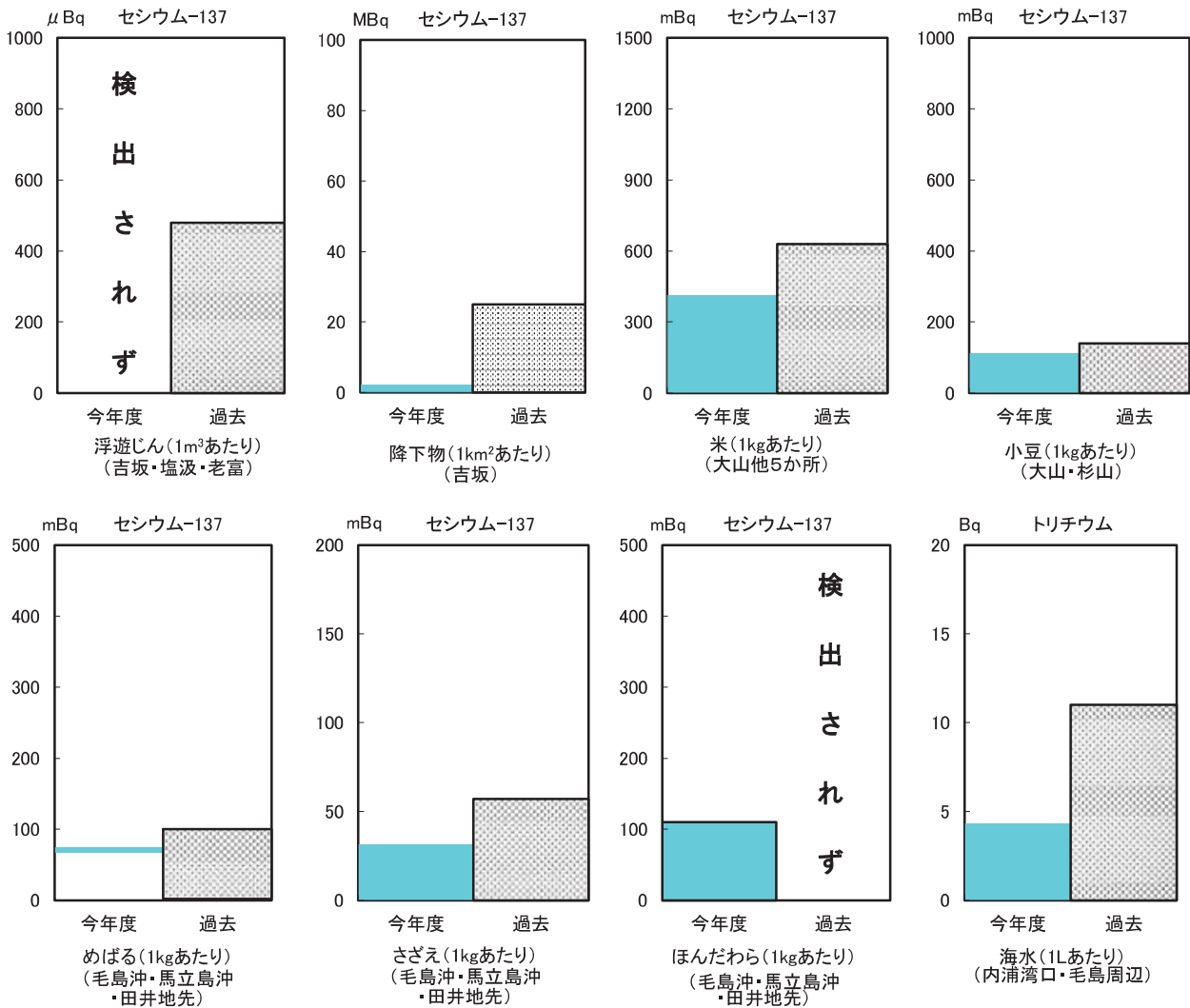
## ☆陸上、海洋モニタリングについて

### 核種分析

私たちが口にする農作物、海産物や牛乳、また、雨や河川水、浮遊じんなどの放射能や含まれる核種について測定を行っています。

過去から検出されているCs-137が検出されました。ほんだわらでは過去10年間の最大値を上回りましたが、過去に検出された値に近いレベルでした。その他の試料については、過去10年間の範囲内でした。

なお、トリチウムは自然界にも存在する放射性核種です。  
代表的なものについてグラフに示しました。



※過去の値は過去10年間の濃度範囲

## 2. 温排水影響監視結果

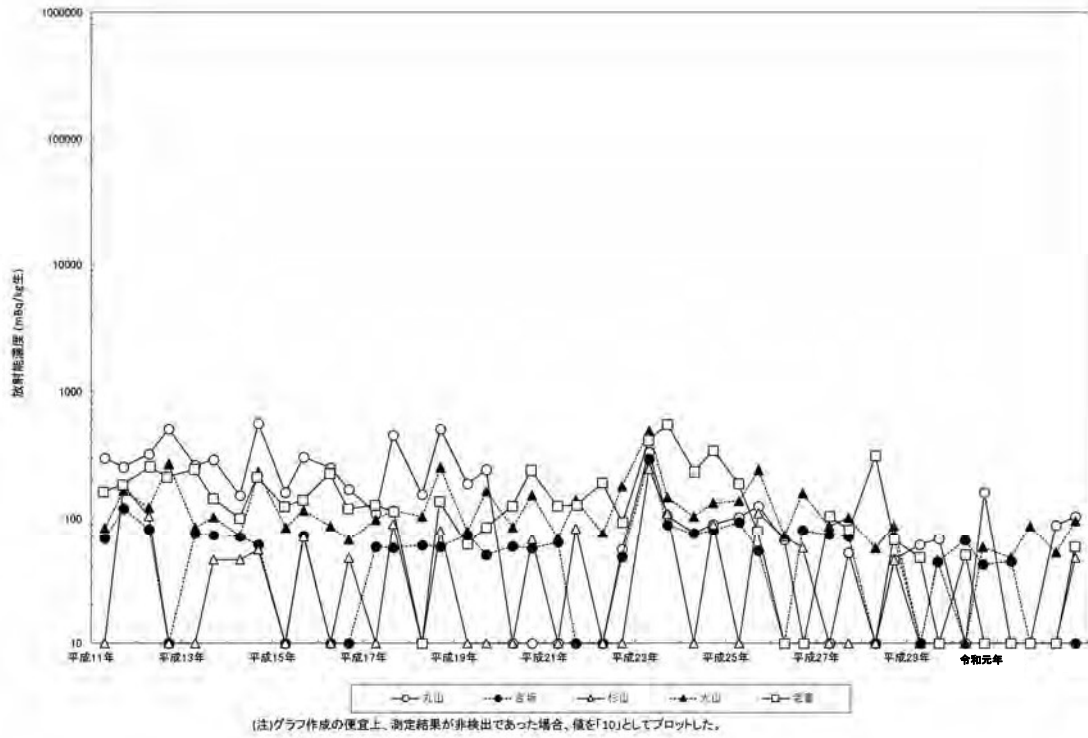
高浜発電所からの温排水の拡散状況を調査しています。

毛島周辺から馬立島周辺に至る25定点における水温、塩分等の分布調査を年6回行った結果、環境安全上問題はありませんでした。

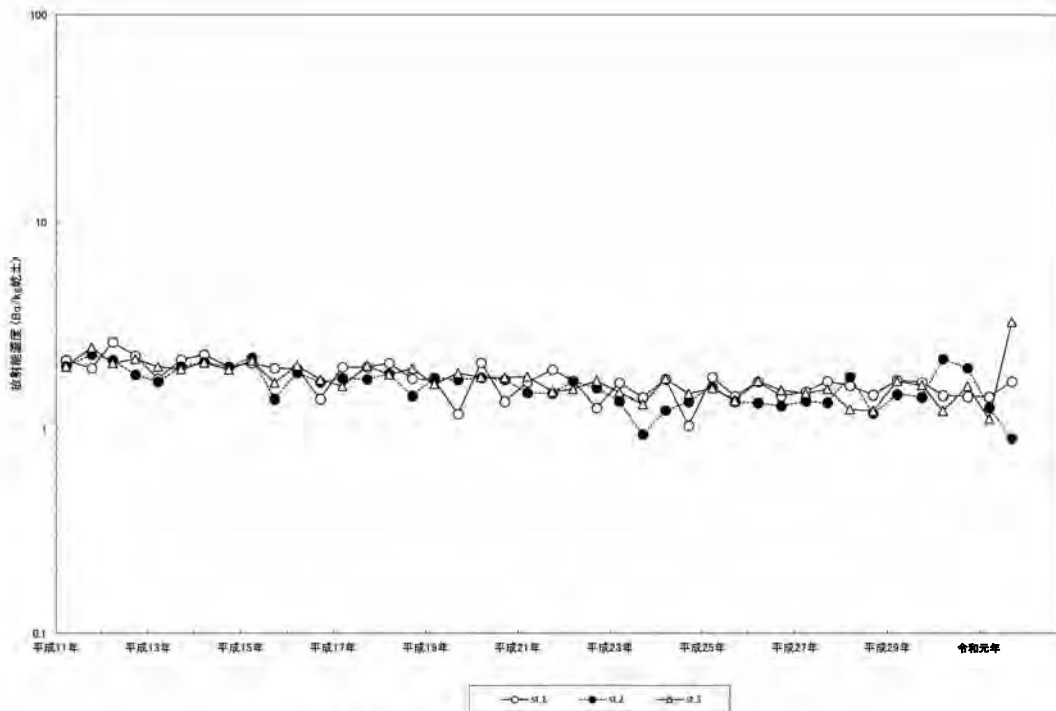
(核種分析の経年変化)

過去の核実験等で放出されたセシウム-137などの人工放射性物質の濃度は、近年、その半減期に従って徐々に衰退しています。

代表的なものについてグラフに示しました。



よもぎ中のセシウム-137濃度の経年変化



海底沈積物中のセシウム-137濃度の経年変化



# 調 査 結 果



# 1 調査の概要

## (1) 調査内容

関西電力株式会社高浜発電所及び関西電力株式会社大飯発電所（以下、「高浜発電所」及び「大飯発電所」という。）の環境への影響を把握するため、両発電所周辺における環境放射線監視及び温排水影響の各調査を行った。

（表 1 - 1、表 1 - 2、図 1 - 1 参照）

環境放射線監視調査のうち空間放射線空気吸収線量率については、舞鶴市、綾部市、伊根町、宮津市、南丹市及び京丹波町の14か所の放射線測定所において気象観測とともに連続測定を実施し、環境放射能測定車による定点測定（3地点）並びに環境放射線調査車による走行サーベイ（11ルート）を四半期ごとに実施した。

また、環境試料については、高浜発電所及び大飯発電所の概ね30km以内の定点において、浮遊じん中の全アルファ放射能及び全ベータ放射能の分析、ガンマ線放出核種の分析のほか、降水物（雨水・ちり）、陸水、陸土、農畜産物、海水、海底沈積物、海洋生物及び指標生物についての核種分析を行った。

これらの調査のうち空間放射線空気吸収線量率及び浮遊じんに関する調査は、比較的短期間における放射線の変動を監視するためのものである。また、環境試料のうち農畜産物、海洋生物等の調査は、環境中の放射能濃度レベルを把握するためのものであり、空間放射線空気吸収線量の測定結果とともに、この結果を用いて放射線による被ばくの状態を評価することができる。

陸土、海底沈積物及び指標生物の測定については、発電所由来の核種の蓄積状況や長期的な環境影響を把握するために継続的に実施しているものである。

一方、温排水影響調査は、高浜発電所からの温排水の拡散状況を調査するもので、毛島周辺から馬立島周辺に至る25定点において海面下0から20mまでの8層の水温、塩分等の分布調査を行った。

(2) 調査実施機関

府民環境部環境管理課

南丹保健所

中丹西保健所

中丹東保健所

丹後保健所

保健環境研究所

農林水産部水産課

農林水産技術センター海洋センター

(3) 調査期間

令和2年4月～令和3年3月

表 1 - 1 環境放射線監視調査の概要

区分	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法
空間放射線空気吸収線量率	放射線測定所 14地点 ①大山測定所 (舞鶴市大山中田241の3) ②吉坂測定所 (舞鶴市松尾水戸白8の1) ③倉梯測定所 (舞鶴市行永7) ④塩汲測定所 (舞鶴市笹部前田115) ⑤岡安測定所 (舞鶴市岡安場々23の1) ⑥老富測定所 (綾部市老富町遊里の下11の1) ⑦日出測定所 (伊根町字日出651) ⑧上司測定所 (宮津市字上司1567-1) ⑨地頭測定所 (舞鶴市字地頭523-2) ⑩上杉測定所 (綾部市上杉町日後30) ⑪八津合測定所 (綾部市八津合町縄手1) ⑫盛郷測定所 (南丹市美山町盛郷上田36-3) ⑬島測定所 (南丹市美山町島往古瀬15-1) ⑭本庄測定所 (京丹波町本庄庄垣21)	連続	令和2年 4月 〜 令和3年 3月	測定器：① 屋外固定式3" φ ×3" エネルギー 補償型 NaI(Tl) シンチレーション 測定装置 ② 屋外固定式電離箱 型(14L)測定装 置 測定高：地上約3.7m 校正線源：Cs-137	

区分	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法
空間放射線量モニタリング	空間放射線空気吸収線量率	環境放射能測定車による定点測定 ①河辺原地区 (舞鶴市河辺原、河辺原公民館) ②三浜地区 (舞鶴市三浜、丸山小学校跡地) ③多門院地区 (舞鶴市多門院)	4回/年	令和2年 5月 9月 12月 令和3年 3月	測定器：車上固定又は移動式 3"φ球形エネルギー補償型 NaI(Tl)シンチレーション測定装置 測定高：地上2.9m(固定時) 校正線源：Cs-137
		環境放射線調査車による走行サーベイ ①東舞鶴地域 ルート1 ②東舞鶴地域 ルート2 ③綾部老富地区 ルート3 ④綾部・西舞鶴地域 ルート4 ⑤福知山市区 ルート5 ⑥伊根・橋北地区 ルート6 ⑦宮津・栗田・由良地区 ルート7 ⑧京丹波町地域 ルート8 ⑨南丹市美山町地域 ルート9 ⑩京北上弓削町地域 ルート10 ⑪広河原・久多地域 ルート11		4回/年	令和2年 5月 9月 12月 令和3年 3月

区分	調査対象	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法
陸上モニタリング	浮遊じん	全アルファ放射能 全ベータ放射能	吉坂測定所 塩波測定所	連続	令和2年 4月 ～ 令和3年 3月	○全アルファ放射能 集じん方法：ろ紙（セルローズガラス繊維ろ紙）ステップ式集じん装置を用いて、6時間連続集じん 測定器：50mmφ ZnS (Ag) + プラスチックシンチレーション検出器 試料採取高：地上2.0m 吸引空気量：250L N/分 ○全ベータ放射能 全アルファ放射能に同じ
		ガンマ線放出核種	吉坂測定所 塩波測定所 老富測定所			12回/年
	ガス状ヨウ素	放射性ヨウ素 （予期せぬ放出発生時に測定）	吉坂測定所 塩波測定所 老富測定所	連続	令和2年 4月 ～ 令和3年 3月	
		ガンマ線放出核種	吉坂測定所	4回/年	令和2年 5、9、12月  令和3年 3月	○ガンマ線放出核種 試料の前処理：採取試料に応じて前処理 測定器：Ge半導体検出器・多重波高分析装置
降下物 （雨水・ちり）	ガンマ線放出核種	吉坂測定所*1	12回/年	令和2年 4月 ～ 令和3年 3月		

(注)\*1 対照地点として、伏見測定所においても、降下物（雨水・ちり）を採取して測定を実施

区分	調査対象	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法
陸上モタリング	陸水	ガンマ線放出核種 トリチウム	与保呂水源地 朝来川	1回/年	令和2年 11月	○トリチウム 試料の前処理：蒸留して100 mLに調整 測定器：低バックグラウンド 液体シンチレーショ ン計数装置 ○プルトニウム 試料の前処理：採取試料に応 じて前処理 測定器：アルファ線スペクト ロメータ ○ストロンチウム-90 試料の前処理：灰試料からス トロンチウム-90を 分離後試料皿に固定 測定器：低バックグラウンド 放射能自動測定装置 比較試料：Sr-90+Y-90 ○ガンマ線放出核種 試料の前処理：採取試料に応 じて前処理 測定器：Ge半導体検出器・ 多重波高分析装置
			上林川	1回/年	令和2年 5月	
			大松川 由良川 伊佐津川 朝妻川	1回/5年		
		ストロンチウム -90	朝来川	1回/年	令和2年 5月	
			大松川 由良川 伊佐津川 朝妻川	1回/5年		
			陸土	ガンマ線放出核種	大山地区 金剛院地区 岡安地区 老富地区	
	ストロンチウム -90	プルトニウム	塩汲地区 老富Ⅱ地区 岡安Ⅱ地区 上司地区	1回/5年		
			塩汲地区 老富Ⅱ地区 岡安Ⅱ地区 上司地区			
			塩汲地区 老富Ⅱ地区 岡安Ⅱ地区 上司地区			
	農畜産物	米	ガンマ線放出核種	大山地区 吉坂地区 杉山地区 金剛院地区 野原地区 老富地区	1回/年	
ストロンチウム -90			大山地区			
プルトニウム			大山地区 杉山地区			
大根		ガンマ線放出核種	大山地区 杉山地区	1回/年	令和2年 12月	
		ほうれん草	大山地区			令和2年 11月



区分	調査対象	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法
農畜産物	生椎茸 小豆 馬鈴薯 梅 きゅうり	ガンマ線放出核種	大山地区	1回/年	令和2年 4月	○ガンマ線放出核種 試料の前処理：採取試料に応じて前処理 測定器：Ge半導体検出器・多重波高分析装置  ○ストロンチウム-90 試料の前処理：灰試料からストロンチウム-90を分離後試料皿に固定 測定器：低バックグラウンド放射能自動測定装置 比較試料：Sr-90+Y-90  ○トリチウム 試料の前処理：蒸留して100mlに調整 測定器：低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置  ○プルトニウム 試料の前処理：採取試料に応じて前処理 測定器：アルファ線スペクトロメータ
			大山地区 杉山地区		令和2年 11月	
			大山地区 杉山地区		令和2年 6月	
			大山地区		令和2年 6月	
			大山地区 杉山地区		令和2年 8、10月	
			多祢寺地区		令和2年 5、11月	
	牛乳	ストロンチウム-90	1回/年	令和2年 11月		
		指標植物	ガンマ線放出核種	大山地区 岡安地区 老富地区	1回/年	
	大山地区 吉坂地区 杉山地区 丸山地区 老富地区			2回/年 令和2年 5、10月		
	ストロンチウム-90		大山地区 吉坂地区			
海洋モニタリング	海水	ガンマ線放出核種	St. 3 北緯 35° 33' 54" 東経135° 29' 43"	2回/年	令和2年 8月 令和3年 2月	
			トリチウム		St. 1 北緯 35° 35' 18" 東経135° 28' 56" St. 2 北緯 35° 35' 25" 東経135° 30' 05" St. 3 北緯 35° 33' 54" 東経135° 29' 43" (注)	6回/年 令和2年 4、6、 8、10、12 月 令和3年 2月
	海底沈積物	ガンマ線放出核種	St. 3 北緯 35° 33' 54" 東経135° 29' 43" (注)	2回/年	令和2年 8月 令和3年 2月	
					プルトニウム	1回/年 令和2年 8月

(注) 経緯度は世界測地系での数値である。

区分	調査対象	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法		
海洋モニタリング	めばる	ガンマ線放出核種	毛島沖	1回/年	令和2年4月			
			馬立島沖 田井地先		令和2年4月			
		ストロンチウム-90	毛島沖		令和2年4月			
	さざえ	ガンマ線放出核種	毛島沖 馬立島沖 田井地先		令和2年7月			
			なまこ		ガンマ線放出核種		毛島沖 馬立島沖 田井地先	令和2年4月
	ストロンチウム-90	毛島沖					令和2年4月	
	わかめ	ガンマ線放出核種	毛島沖 馬立島沖 田井地先		令和2年4月			
					あじ		田井沖	令和2年11月
								あおりいか
					うまづらばぎ		令和2年6月	
					するめいか		令和2年5月	
					まいわし		令和2年7月	
	指標海洋生物	ほんだわら	ガンマ線放出核種		毛島沖 馬立島沖 田井地先		令和2年4月	
					ストロンチウム-90			毛島沖

区分	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法
気象観測	風向、風速、 気温、湿度、 雨雪量、感雨	放射線測定所11地点 大山測定所 吉坂測定所 倉梯測定所 塩汲測定所 岡安測定所 老富測定所 日出測定所 地頭測定所 上杉測定所 八津合測定所 本庄測定所	連 続	令和2年 4月 ～ 令和3年 3月	○風向、風速 測定器：プロペラ式微風向風速計 ○気温 測定器：白金抵抗温度計 ○湿度 測定器：静電容器型湿度計 ○雨雪量 測定器：ヒーター付転倒ます型雨量計 ○感雨 測定器：電極面短絡電流方式感雨計 ○積雪深 測定器：レーザー反射方式積雪深計 ○日射量 測定器：熱電堆式全日射計 ○放射収支量 測定器：熱電堆式示差放射収支計 ○大気安定度 風速、日射量又は放射収支量から日本式パスキル安定度を算出。
	積 雪 深	放射線測定所2地点 大山測定所 老富測定所			
	日 射 量 放射収支量 大気安定度	放射線測定所2地点 吉坂測定所 老富測定所			
	風 向、風 速	環境放射能測定車による観測 河辺原地区 三浜地区 多門院地区			4回/年 空間放射線空気吸収線量率測定時に合わせて実施

表 1-2 温排水影響調査の概要

調査の種類	調査海域	調査項目	調査回数	調査時期	調査定点等	使用船舶	備考(図中記号)
分布調査	毛島 馬立島 内浦湾湾 口部周辺 海域	水塩透 明度象 温分度 象	6回	令和2年 4月、6月、 8月、10月、 12月 令和3年 2月	25 定点 8 層	平安丸 (183トン)	(●)

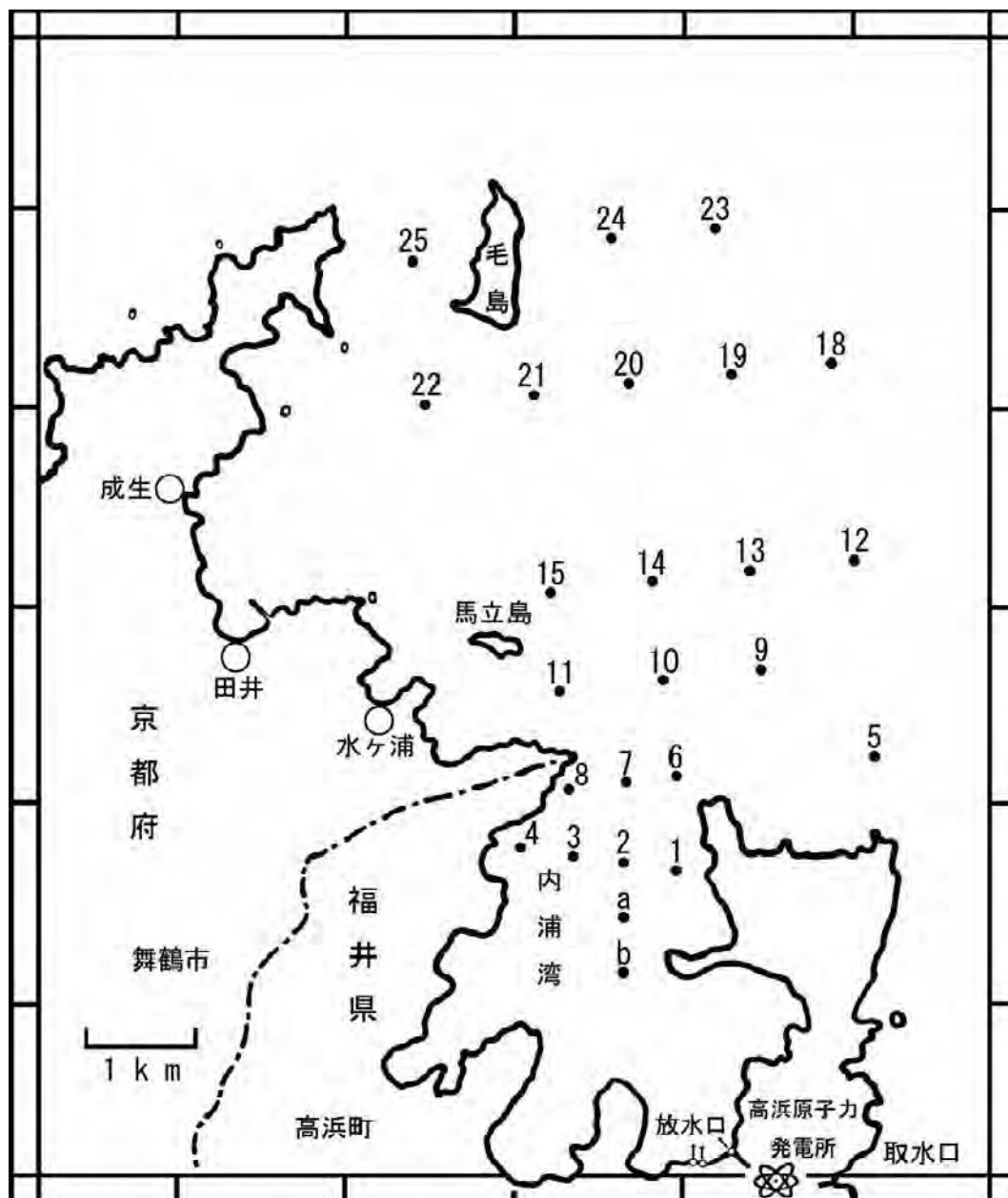


図 1-1 温排水影響調査定点図

## 2 環境放射線監視調査結果

### (1) 空間放射線空気吸収線量率等

#### ア 放射線測定所による空間放射線空気吸収線量率

空間放射線空気吸収線量率は14測定所で24時間連続測定を行い、令和2年度の線量率の年平均値は、28～49nGy/h（ナノグレイ/時）であった。昭和52年度に測定を開始した大山、吉坂及び倉梯測定所では、大きな変動は認められなかった。平成13年度から測定を開始した塩汲、岡安及び老富測定所、平成25年度から測定を開始した日出、上司、地頭、上杉、八津合、盛郷、島及び本庄測定所でも大きな変動は認められなかった。

月別平均線量率は、年間を通してほぼ同じレベルで推移した。

年間の最大線量率は、65～98nGy/hであったが、それぞれが最大線量率を観測した要因はいずれも降雪に伴って地表付近の天然放射性物質が増加したためと考えられる。

空間放射線空気吸収線量率の測定結果について、一定の変動幅（平均値＋標準偏差の3倍）を超えた線量の総和は、0.8～1.6μGy/年（マイクログレイ/年）で、例年と同じ程度であった。

（表2-1、図2-1参照）

#### イ 環境放射能測定車及び環境放射線調査車による空間放射線空気吸収線量率等

令和2年度の環境放射能測定車による定点測定の線量率測定結果は、21～38nGy/hであり、放射線測定所における測定結果とほぼ同程度であった。

環境放射線調査車による測定については、例年とほぼ同じ値であり、大きな変動は認められなかった。

（表2-2、表2-3参照）

#### ウ 浮遊じん中の放射能

吉坂及び塩汲測定所において、環境大気を6時間連続吸引し、浮遊じん中の全アルファ放射能及び全ベータ放射能を測定した。

令和2年度の浮遊じん中の全アルファ放射能は、最大155mBq/m<sup>3</sup>（ミリベクレル/立方メートル）、全ベータ放射能は、最大228mBq/m<sup>3</sup>で、年間平均値については全アルファ放射能、全ベータ放射能ともに例年と同程度であり、異常は認められなかった。

（表2-4参照）

#### エ ガス状ヨウ素

昭和63年度から吉坂測定所において、環境大気中のガス状ヨウ素を活性炭ろ紙に吸着させる方法により測定を実施しているが、令和2年度もこれまでと同様に、ガス状ヨウ素は検出されなかった。

（表2-5参照）

## (2) 気象観測

高浜発電所及び大飯発電所からの放射線の影響を的確に把握するため、風向・風速、気温、湿度、雨雪量等については大山、吉坂及び倉梯測定所等12地点において、また、日射量及び放射収支量については吉坂及び老富測定所において、積雪深については大山及び老富測定所においてそれぞれ観測を実施した。

### ア 風向・風速

令和2年度における各測定所の最多風向は、大山測定所では南、吉坂測定所では東北東、倉梯測定所では北北東、塩汲測定所では南南東、岡安測定所では北北東、老富測定所では南西、上杉測定所では西南西、八津合測定所では東、本庄測定所では北、日出測定所では東南東、地頭測定所では東であった。

風配図で見ると、四季を通じて同じような出現状況を示しており、海陸風が主体となっており、地形による影響が表れていると考えられる。

(図2-2参照)

### イ 気温

令和2年度の年平均気温は、13.0～17.6℃であった。

(表2-6参照)

### ウ 大気安定度

大気の拡散を支配する要素である大気安定度は、風速、日射量及び放射収支量から大気安定度分類表により求めているが、吉坂及び老富測定所における令和2年度の大気安定度別出現頻度も、例年と同様であった。

(表2-7参照)

(参考) 大気安定度分類表

風速 (U) m / s	日射量 (T) kw / m <sup>2</sup>				放射収支量 (Q) kw / m <sup>2</sup>		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.020 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A - B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A - B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B - C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C - D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

出典：発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針（原子力安全委員会決定、昭和57年）

- (注) 1 A：強不安定 B：並不安定 C：弱不安定 D：中立 E：弱安定 F：並安定 G：強安定  
 2 放射収支量は地面から上方へ向かう量を負とする。  
 3 夜間の放射収支量は普通は負であるが、まれに正となることがある。  
 4 日射量及び放射収支量は、観測時前1時間の平均値をとる。  
 5 日中（日の出～日の入り）は日射量を用い、夜間（日の入り～日の出）は放射収支量を用いる。  
 6 日射量及び放射収支量の単位としてはkw / m<sup>2</sup>を用いる。

### (3) 環境試料の核種分析

環境試料のガンマ線放出核種分析については、人工放射性核種であるヨウ素-131 (<sup>131</sup>I)、セシウム-137 (<sup>137</sup>Cs) 等並びに天然放射性核種であるベリリウム-7 (<sup>7</sup>Be) 及びカリウム-40 (<sup>40</sup>K) について定量を行った。また、陸水及び海水についてはトリチウム (<sup>3</sup>H) 濃度の測定を、陸水、陸土、米、牛乳、よもぎ、めばる、なまこ及びほんだわらについては、ストロンチウム-90 (<sup>90</sup>Sr) 濃度の測定を、陸土、海底沈積物及び米については、プルトニウム (<sup>238</sup>Pu、<sup>239</sup>Pu + <sup>240</sup>Pu) 濃度の測定を行った。

#### ア ガンマ線放出核種分析

令和2年度のガンマ線放出核種分析結果は、次のとおりであった。

浮遊じんは1か月捕集分をまとめて核種分析をしているが、ベリリウム-7が例年と同程度検出された。

降下物（雨水・ちり）については、吉坂測定所及びこれと比較対照を行うため保健環境研究所において試料の採取を行い測定を実施したが、セシウム-137、ベリリウム-7及びカリウム-40が例年と同程度検出された。

陸水及び陸土については、セシウム-137、ベリリウム-7及びカリウム-40が例年と同程度検出された。

農畜産物（米及び小豆など）と指標植物（よもぎ）については、セシウム-137、ベリリウム-7及びカリウム-40が例年と同程度検出された。

海洋生物（めばる、さざえ及びわかめなど）と指標海洋生物（ほんだわら）については、セシウム-137、ベリリウム-7及びカリウム-40が例年と同程度検出された。

海水については、セシウム-137及びベリリウム-7が例年と同程度検出された。

海底沈積物については、セシウム-137及びカリウム-40が例年と同程度検出された。

以上のとおり、環境試料のガンマ線放出核種分析においては、人工放射性核種であるセシウム-137が検出されたが、これは過去の核実験等や福島第一原発事故に由来するものと考えられ、高浜発電所及び大飯発電所に由来する放射性物質の影響は認められなかった。

（表2-8参照）

#### イ トリチウム分析

トリチウム濃度は、陸水については不検出であり、海水については不検出～4.3Bq/L（ベクレル/リットル）の範囲で検出され、例年と同程度であった。

（表2-9参照）

#### ウ ストロンチウム及びプルトニウム分析

ストロンチウム濃度は、陸水及び牛乳については、不検出～1.3mBq/L、陸土については、0.28～1.1Bq/kg乾土、米、よもぎ、めばる、なまこ及びほんだわらについては、不検出～370mBq/kg生の範囲内であり、異常は認められなかった。

プルトニウム濃度は、陸土及び海底沈積物については、不検出～1.1Bq/kg乾土、米については不検出であり、異常は認められなかった。

これらストロンチウム-90及びプルトニウムは、過去の核実験等に由来しているものと考えられる。

（表2-10、表2-11参照）



表2-1 令和2年度空間放射線空気吸収線量率測定結果

大山測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	69	54	72	59	57	57	49	88	75	90	64	73	90	46 ~ 139
最 小	30	30	30	30	30	30	31	30	23	24	27	30	23	18 ~ 31
平均値 (M)	33	32	33	33	32	33	32	34	34	33	34	33	33	25 ~ 36
標準偏差 (σ)	6	3	6	4	2	3	2	6	7	8	5	5	5	1 ~ 9
M+3σを超過した時間数	21 時間	21 時間	22 時間	17 時間	7 時間	22 時間	21 時間	17 時間	17 時間	20 時間	20 時間	21 時間	226 時間	10 ~ 28 時間
M+3σを超過した線量の合計	205 nGy	105 nGy	186 nGy	78 nGy	48 nGy	133 nGy	48 nGy	199 nGy	129 nGy	226 nGy	108 nGy	184 nGy	1.6 μ Gy	44 ~ 381 nGy

吉坂測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	67	66	77	69	55	69	51	66	90	78	77	68	90	47 ~ 235
最 小	34	34	34	34	34	34	35	34	27	29	32	34	27	18 ~ 36
平均値 (M)	37	37	38	37	37	38	37	38	38	37	38	37	37	26 ~ 41
標準偏差 (σ)	5	4	6	4	2	4	2	4	8	6	6	4	5	1 ~ 18
M+3σを超過した時間数	24 時間	19 時間	20 時間	15 時間	6 時間	23 時間	14 時間	24 時間	16 時間	18 時間	23 時間	21 時間	223 時間	10 ~ 30 時間
M+3σを超過した線量の合計	161 nGy	134 nGy	178 nGy	76 nGy	35 nGy	123 nGy	45 nGy	97 nGy	143 nGy	143 nGy	181 nGy	174 nGy	1.5 μ Gy	16 ~ 743 nGy

倉梯測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	69	77	88	74	64	71	59	85	95	75	83	80	95	56 ~ 109
最 小	46	46	46	46	46	46	46	47	43	40	44	46	40	29 ~ 48
平均値 (M)	48	49	50	49	49	49	49	49	51	49	49	49	49	41 ~ 52
標準偏差 (σ)	4	3	5	4	2	3	2	4	6	5	5	4	4	1 ~ 10
M+3σを超過した時間数	26 時間	20 時間	19 時間	15 時間	4 時間	22 時間	15 時間	16 時間	16 時間	16 時間	16 時間	22 時間	207 時間	5 ~ 28 時間
M+3σを超過した線量の合計	112 nGy	113 nGy	151 nGy	69 nGy	20 nGy	100 nGy	28 nGy	103 nGy	142 nGy	98 nGy	157 nGy	162 nGy	1.3 μ Gy	9 ~ 269 nGy

- (注) 1 測定値は宇宙線の寄与を含まない。  
 2 標準偏差 (σ) は測定値のばらつきの程度を表し、測定値が (平均値) + (標準偏差の3倍) の範囲にあれば、ほぼ平常の変動幅の範囲内であるとされる。この幅を超えた場合は、気象条件等の原因を検討する。

表2-1 つづき

塩汲測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	72	61	74	69	59	62	48	72	85	85	75	69	85	47 ~ 188
最 小	34	34	34	34	34	34	34	34	23	25	30	34	23	17 ~ 36
平均値 (M)	37	37	38	37	36	36	36	37	36	35	37	37	37	25 ~ 41
標準偏差 (σ)	5	3	5	4	1	3	2	5	8	8	7	4	5	1 ~ 13
M+3σを超過した時間数	26 時間	21 時間	21 時間	18 時間	7 時間	28 時間	21 時間	20 時間	13 時間	20 時間	21 時間	20 時間	236 時間	6 ~ 29 時間
M+3σを超過した線量の合計	166 nGy	115 nGy	182 nGy	86 nGy	40 nGy	109 nGy	38 nGy	138 nGy	122 nGy	178 nGy	178 nGy	149 nGy	1.5 μ Gy	32 ~ 547 nGy

岡安測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	67	59	68	66	52	62	48	72	89	74	80	67	89	47 ~ 177
最 小	35	35	35	36	36	35	36	35	30	29	32	35	29	19 ~ 37
平均値 (M)	38	37	39	39	38	39	38	39	40	38	39	38	38	29 ~ 41
標準偏差 (σ)	4	3	5	4	1	3	2	4	6	6	6	4	4	1 ~ 14
M+3σを超過した時間数	25 時間	20 時間	24 時間	18 時間	4 時間	24 時間	17 時間	18 時間	17 時間	16 時間	22 時間	20 時間	225 時間	9 ~ 29 時間
M+3σを超過した線量の合計	155 nGy	103 nGy	144 nGy	79 nGy	17 nGy	94 nGy	23 nGy	74 nGy	137 nGy	103 nGy	162 nGy	137 nGy	1.2 μ Gy	16 ~ 545 nGy

老富測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	69	74	84	67	51	67	67	76	85	77	81	73	85	55 ~ 211
最 小	40	40	40	40	41	40	41	40	32	33	36	40	32	18 ~ 43
平均値 (M)	42	42	44	43	43	44	43	44	43	41	43	43	43	29 ~ 47
標準偏差 (σ)	4	3	5	4	1	3	2	4	7	6	6	4	4	2 ~ 17
M+3σを超過した時間数	26 時間	20 時間	19 時間	16 時間	4 時間	23 時間	11 時間	17 時間	16 時間	16 時間	23 時間	20 時間	211 時間	10 ~ 30 時間
M+3σを超過した線量の合計	140 nGy	114 nGy	160 nGy	69 nGy	8 nGy	98 nGy	45 nGy	120 nGy	138 nGy	124 nGy	168 nGy	134 nGy	1.3 μ Gy	14 ~ 635 nGy

(注) 前頁に同じ。

表2-1 つづき

日出測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去7年間の変動幅
最 大	78	65	66	65	46	56	55	81	79	80	82	68	82	45 ~ 123
最 小	34	34	34	33	35	34	35	34	28	25	30	34	25	16 ~ 36
平均値 (M)	37	37	38	38	37	37	37	38	39	35	38	37	37	26 ~ 42
標準偏差 (σ)	5	3	5	4	1	3	2	5	7	6	6	4	4	1 ~ 9
M+3σを超過した時間数	16 時間	20 時間	23 時間	19 時間	8 時間	20 時間	19 時間	19 時間	19 時間	14 時間	22 時間	22 時間	221 時間	8 ~ 29 時間
M+3σを超過した線量の合計	155 nGy	97 nGy	171 nGy	107 nGy	18 nGy	78 nGy	61 nGy	171 nGy	140 nGy	124 nGy	137 nGy	125 nGy	1.4 μ Gy	26 ~ 342 nGy

上司測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去7年間の変動幅
最 大	78	73	80	69	61	63	58	79	84	81	83	82	84	57 ~ 104
最 小	44	45	45	44	46	45	45	45	31	33	37	45	31	25 ~ 49
平均値 (M)	48	49	49	48	49	49	48	49	48	47	48	48	48	46 ~ 53
標準偏差 (σ)	4	3	4	3	2	3	2	3	8	6	6	3	4	1 ~ 10
M+3σを超過した時間数	20 時間	19 時間	20 時間	20 時間	3 時間	20 時間	17 時間	15 時間	15 時間	8 時間	16 時間	22 時間	195 時間	1 ~ 28 時間
M+3σを超過した線量の合計	149 nGy	87 nGy	143 nGy	59 nGy	7 nGy	45 nGy	33 nGy	78 nGy	87 nGy	48 nGy	125 nGy	119 nGy	1.0 μ Gy	1 ~ 228 nGy

地頭測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去7年間の変動幅
最 大	55	69	80	61	55	58	50	51	78	58	73	66	80	50 ~ 87
最 小	36	37	36	36	37	36	36	37	32	29	32	36	29	20 ~ 41
平均値 (M)	39	39	40	39	39	40	39	39	41	38	39	39	39	36 ~ 45
標準偏差 (σ)	3	3	5	4	2	3	2	2	5	4	5	3	3	2 ~ 9
M+3σを超過した時間数	28 時間	18 時間	16 時間	19 時間	4 時間	23 時間	12 時間	17 時間	16 時間	12 時間	21 時間	17 時間	203 時間	4 ~ 25 時間
M+3σを超過した線量の合計	88 nGy	112 nGy	155 nGy	75 nGy	17 nGy	87 nGy	25 nGy	35 nGy	139 nGy	28 nGy	130 nGy	105 nGy	1.0 μ Gy	9 ~ 172 nGy

(注) 1, 2 前頁と同じ。

3 日出、上司及び地頭測定所は平成25年4月から測定を開始している。

表2-1 つづき

上杉測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去7年間の変動幅
最 大	42	62	65	54	34	54	39	41	58	45	56	52	65	37 ~ 95
最 小	25	26	26	25	27	26	26	26	22	22	24	25	22	18 ~ 28
平均値 (M)	28	28	29	29	29	29	28	29	29	28	28	28	28	26 ~ 31
標準偏差 (σ)	3	3	4	3	1	3	2	2	4	3	3	3	3	1 ~ 7
M+3σを超過した時間数	28 時間	12 時間	17 時間	16 時間	8 時間	18 時間	12 時間	21 時間	17 時間	18 時間	24 時間	18 時間	209 時間	7 ~ 24 時間
M+3σを超過した線量の合計	65 nGy	103 nGy	129 nGy	74 nGy	4 nGy	87 nGy	20 nGy	50 nGy	140 nGy	38 nGy	101 nGy	126 nGy	0.9 μ Gy	17 ~ 186 nGy

八津合測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去7年間の変動幅
最 大	58	69	78	64	47	55	46	51	88	61	66	68	88	47 ~ 100
最 小	34	34	34	34	35	34	34	34	27	27	31	33	27	21 ~ 37
平均値 (M)	36	36	37	37	37	37	37	37	38	35	37	36	37	35 ~ 41
標準偏差 (σ)	3	3	5	4	2	3	2	3	6	4	4	4	3	2 ~ 8
M+3σを超過した時間数	22 時間	18 時間	17 時間	14 時間	3 時間	19 時間	11 時間	15 時間	16 時間	10 時間	19 時間	22 時間	186 時間	3 ~ 25 時間
M+3σを超過した線量の合計	78 nGy	88 nGy	148 nGy	77 nGy	5 nGy	81 nGy	17 nGy	46 nGy	141 nGy	31 nGy	130 nGy	142 nGy	1.0 μ Gy	2 ~ 216 nGy

盛郷測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去7年間の変動幅
最 大	65	76	98	91	65	70	58	76	93	70	81	79	98	61 ~ 142
最 小	45	45	45	45	46	45	46	46	37	37	42	45	37	25 ~ 48
平均値 (M)	48	49	51	49	51	51	49	50	50	47	49	49	49	34 ~ 53
標準偏差 (σ)	3	3	6	5	3	3	2	3	6	5	4	4	4	2 ~ 11
M+3σを超過した時間数	20 時間	16 時間	16 時間	11 時間	4 時間	17 時間	7 時間	8 時間	8 時間	7 時間	16 時間	20 時間	150 時間	0 ~ 24 時間
M+3σを超過した線量の合計	54 nGy	88 nGy	178 nGy	86 nGy	11 nGy	74 nGy	9 nGy	66 nGy	126 nGy	21 nGy	105 nGy	114 nGy	0.9 μ Gy	0 ~ 360 nGy

(注) 1, 2 前頁に同じ。

3 上杉、八津合及び盛郷測定所は平成25年4月から測定を開始している。

表2-1 つづき

島測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去7年間の変動幅
最 大	59	54	68	66	43	57	47	52	67	53	64	59	68	43 ~ 108
最 小	32	32	32	32	33	32	32	33	29	30	32	32	29	23 ~ 34
平 均 値 (M)	35	35	36	36	36	35	35	36	37	35	35	35	35	34 ~ 38
標準偏差 (σ)	3	3	5	4	2	3	2	3	4	3	3	3	3	2 ~ 6
M+3σを超過した時間数	17 時間	17 時間	20 時間	14 時間	4 時間	16 時間	5 時間	13 時間	12 時間	10 時間	11 時間	17 時間	156 時間	1 ~ 20 時間
M+3σを超過した線量の合計	68 nGy	64 nGy	140 nGy	74 nGy	1 nGy	71 nGy	13 nGy	40 nGy	117 nGy	25 nGy	76 nGy	128 nGy	0.8 μ Gy	0 ~ 166 nGy

本庄測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去7年間の変動幅
最 大	56	54	65	66	43	58	45	48	64	53	70	56	70	43 ~ 80
最 小	33	33	33	32	33	33	33	33	28	30	32	32	28	22 ~ 34
平 均 値 (M)	36	36	37	36	37	36	36	36	37	36	36	35	36	34 ~ 38
標準偏差 (σ)	3	2	5	4	2	3	2	2	4	3	3	3	3	2 ~ 6
M+3σを超過した時間数	21 時間	17 時間	19 時間	16 時間	2 時間	20 時間	7 時間	10 時間	17 時間	10 時間	13 時間	15 時間	167 時間	1 ~ 24 時間
M+3σを超過した線量の合計	71 nGy	65 nGy	142 nGy	79 nGy	0 nGy	63 nGy	11 nGy	25 nGy	112 nGy	27 nGy	81 nGy	89 nGy	0.8 μ Gy	1 ~ 131 nGy

(注) 1, 2 前頁と同じ。

3 島及び本庄測定所は平成25年4月から測定を開始している。

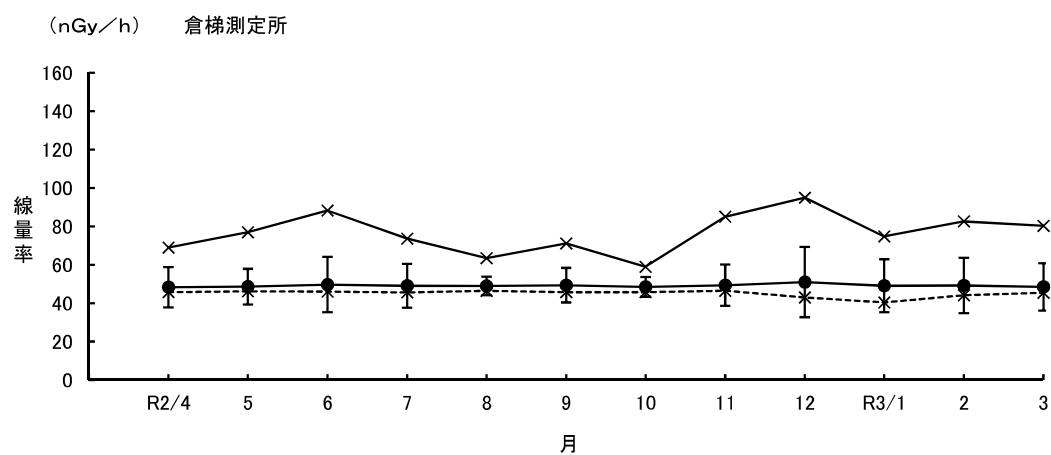
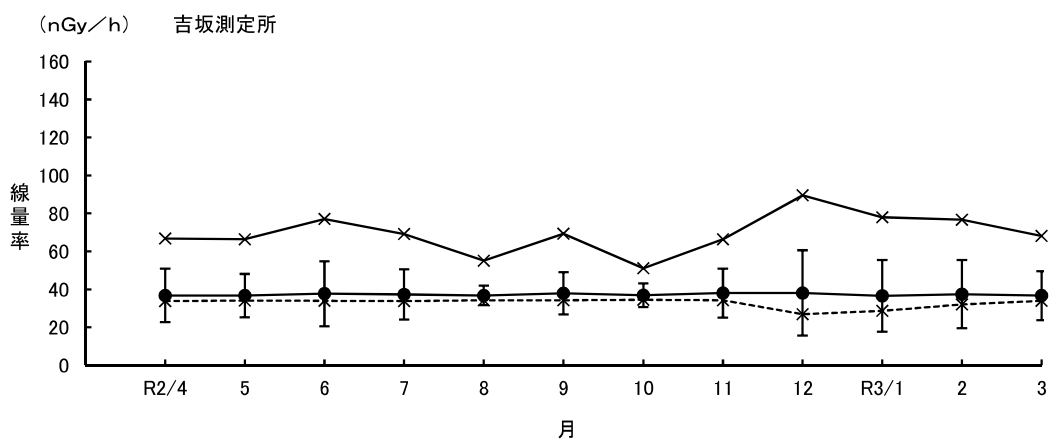
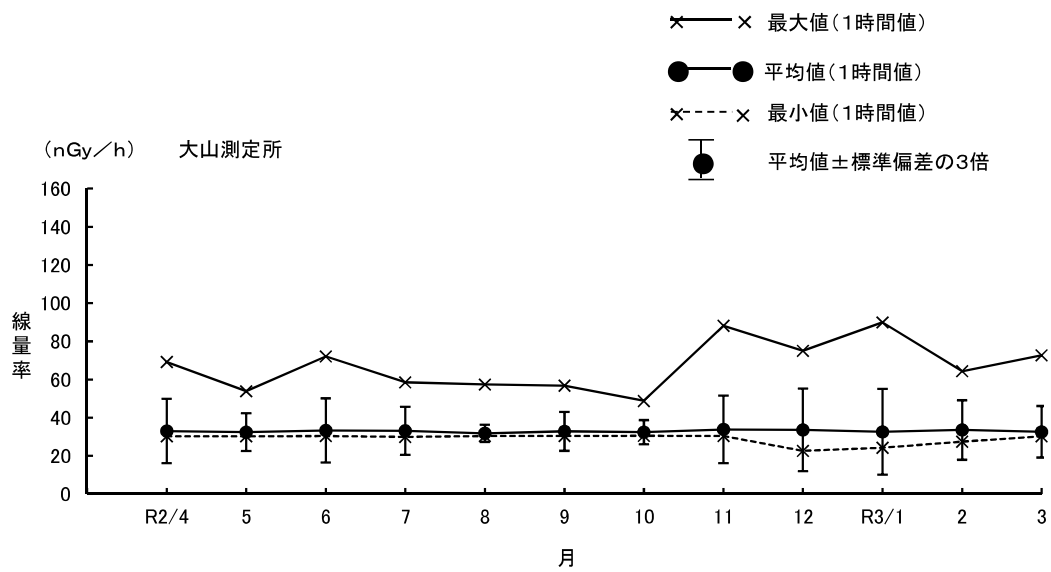


図2-1 令和2年度空間放射線空気吸収線量率測定結果

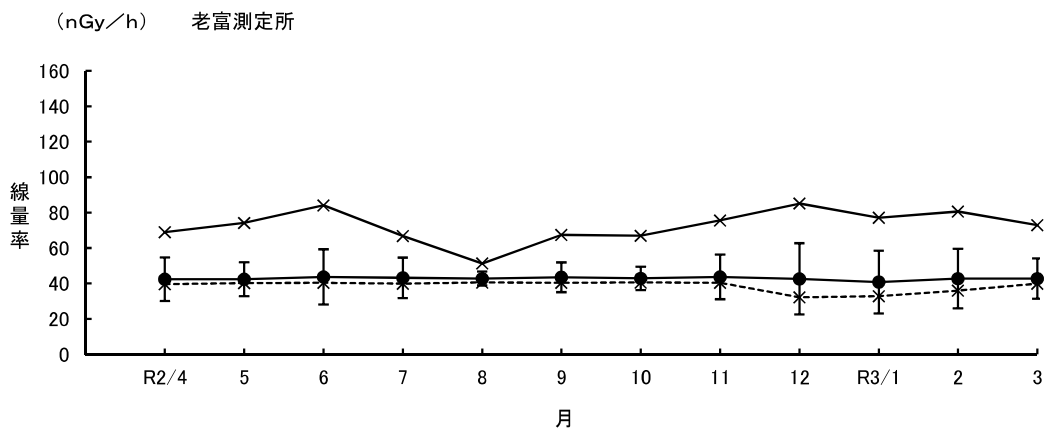
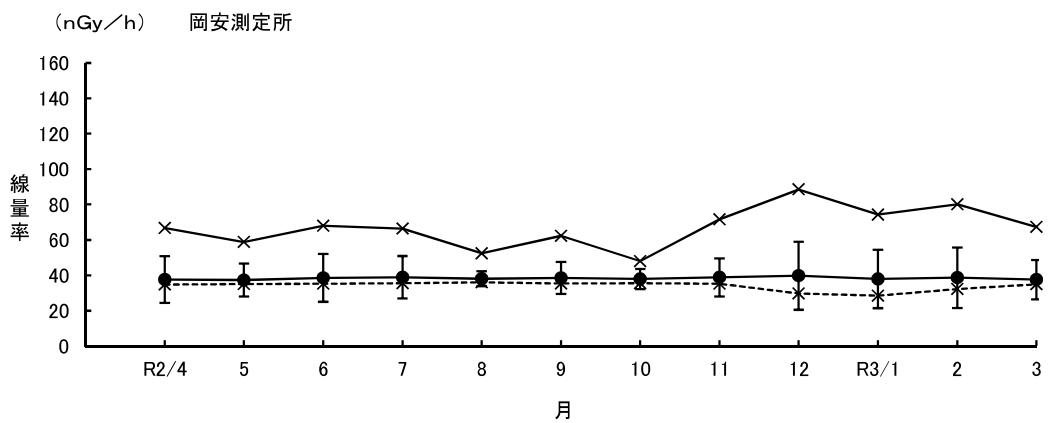
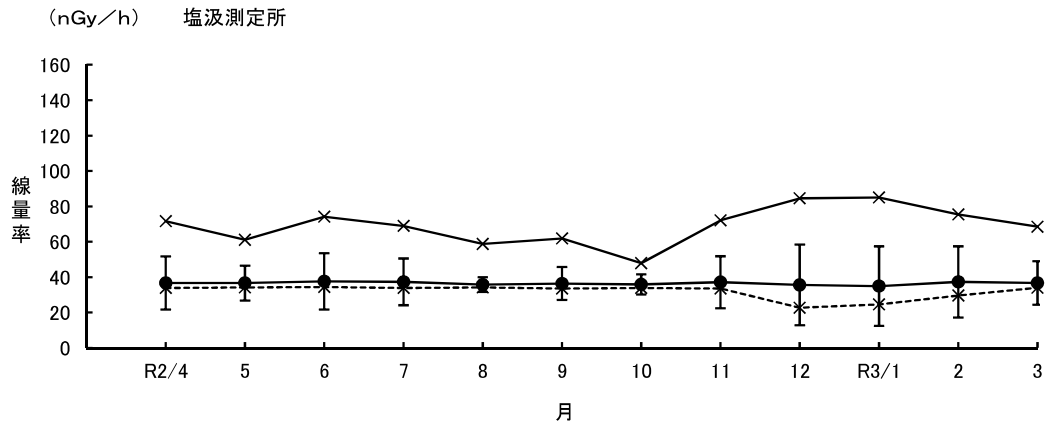


図2-1 つづき

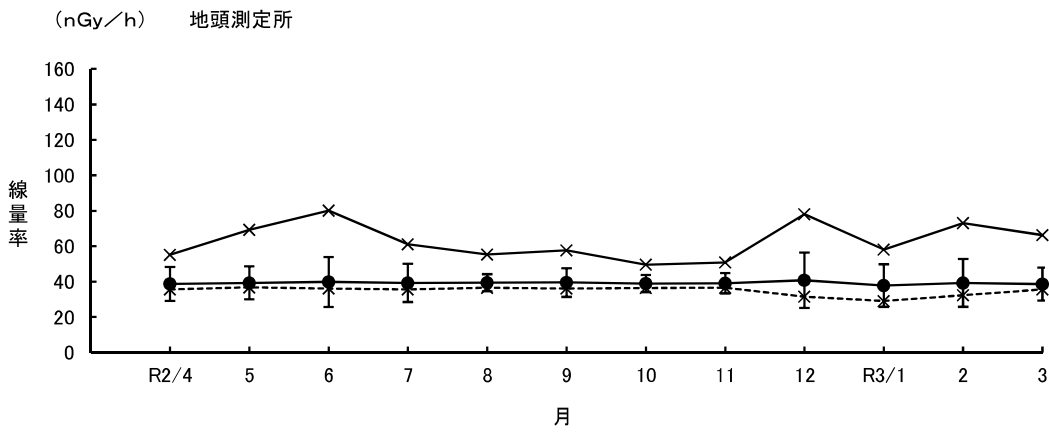
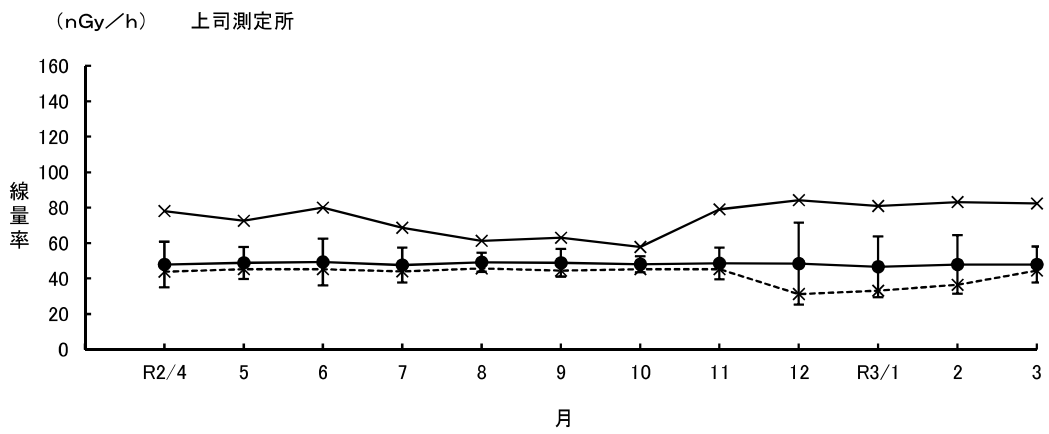
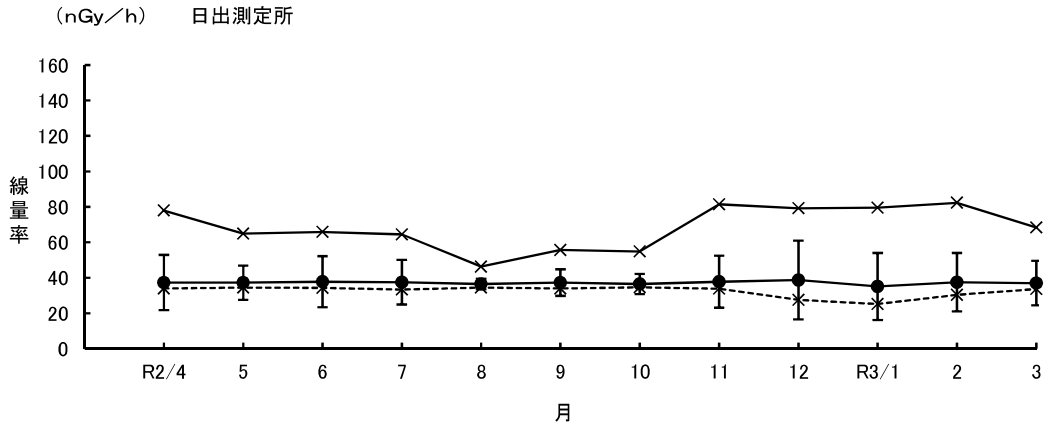


図2-1 つづき



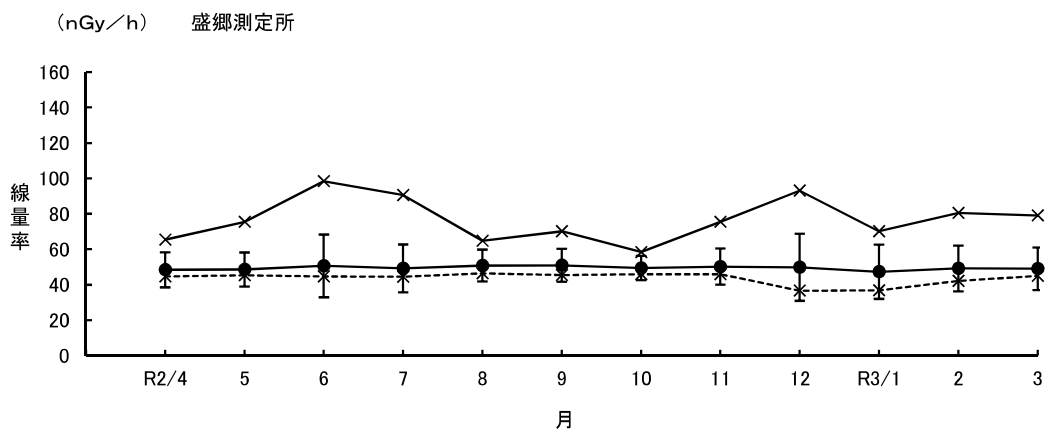
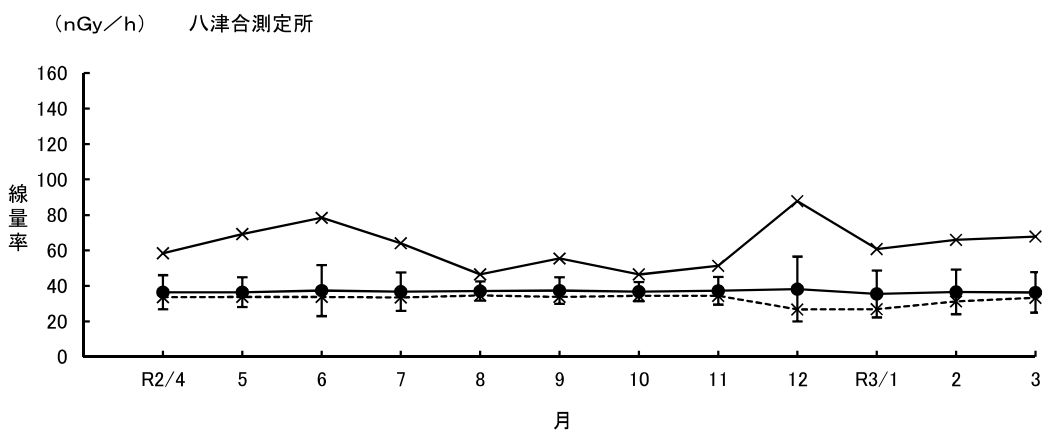
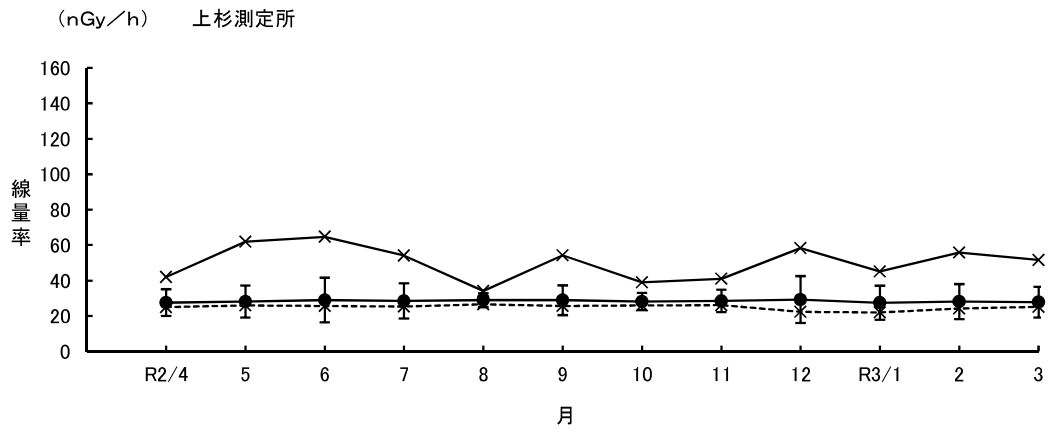


図2-1 つづき

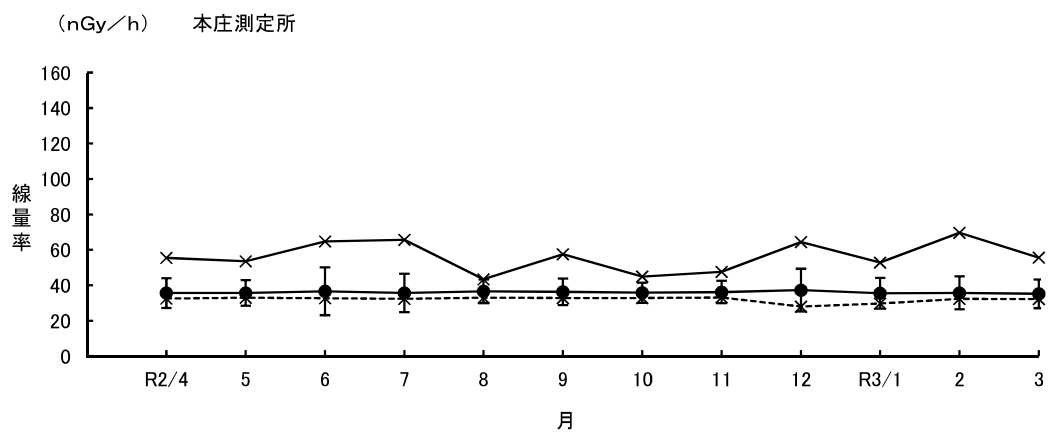
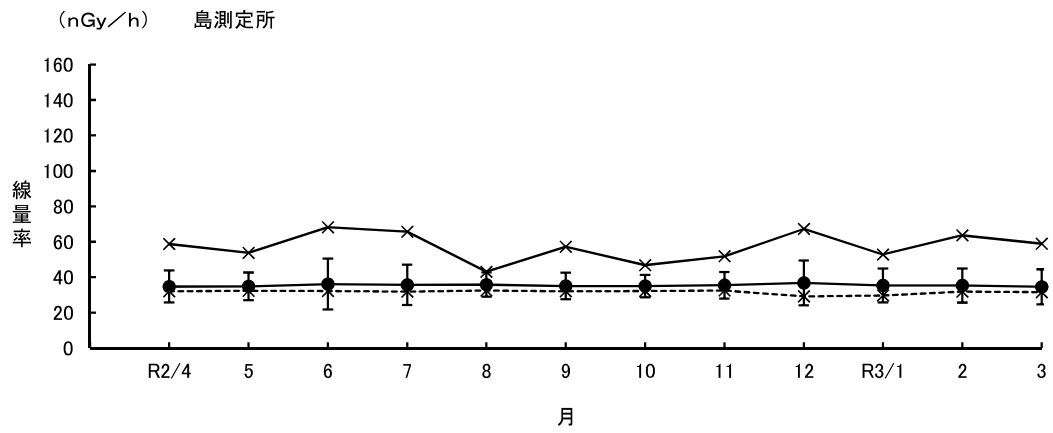


図2-1 つづき

表2-2 令和2年度環境放射能測定車による空間放射線空気吸収線量率及び気象の測定結果

河 辺 原 地 区

測定日等		項 目	天候	気温 (°C)	線量率 (nGy/h)			風向・風速 (m/s) (時刻)
					最大	最小	平均	
6月2日	13:30 ~ 14:30		晴	27.0	36	31	35	(欠測)
9月16日	11:20 ~ 12:20		曇	26.8	38	36	37	(欠測)
12月3日	14:20 ~ 15:20		小雨	10.1	38	37	37	(欠測)
3月4日	12:10 ~ 13:10		晴	17.9	35	34	34	(欠測)
令和2年度			—	20.5	38	31	36	—
過去10年間の変動幅			—	—	58	20	—	—

三 浜 地 区

測定日等		項 目	天候	気温 (°C)	線量率 (nGy/h)			風向・風速 (m/s) (時刻)
					最大	最小	平均	
6月1日	13:10 ~ 14:10		晴	29.5	26	24	25	(欠測)
9月15日	12:20 ~ 13:20		晴	25.6	26	25	26	(欠測)
12月4日	11:50 ~ 12:50		小雨	10.1	26	25	25	(欠測)
3月12日	12:40 ~ 13:40		晴	14.4	26	25	25	(欠測)
令和2年度			—	19.9	26	24	25	—
過去10年間の変動幅			—	—	56	22	—	—

多 門 院 地 区

測定日等		項 目	天候	気温 (°C)	線量率 (nGy/h)			風向・風速 (m/s) (時刻)
					最大	最小	平均	
6月2日	11:00 ~ 12:00		晴	26.0	21	21	21	(欠測)
9月15日	13:30 ~ 14:30		晴	25.3	24	23	24	(欠測)
12月3日	12:20 ~ 13:20		小雨	10.4	35	31	33	(欠測)
3月12日	10:40 ~ 11:40		曇	12.9	25	24	25	(欠測)
令和2年度			—	18.7	35	21	26	—
過去10年間の変動幅			—	—	40	14	—	—

- (注) 1 測定値は宇宙線の寄与を含まない。  
 2 風速の静穏とは0.3m/s未満を示す。  
 3 車両都合により、代替機器(可搬型モニタリングポスト(日立製作所MAR-5700B))で測定。

表2-3 令和2年度環境放射線調査車による空間放射線空気吸収線量率測定結果

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

東舞鶴地域	地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	年月日	大波下朝来中	登尾塩浜	尾塩浜	尾塩浜	浜塩	杉山	松尾寺	吉坂	金剛院	堂奥	多門院	青義中学校
	5月14日	21	26	26	33	25	20	18	24	32	20	18	21
	9月29日	23	28	28	32	23	21	20	24	32	22	19	22
	12月4日	23	28	28	34	26	21	20	25	33	23	18	22
	3月4日	22	27	27	33	27	21	18	25	32	22	18	22
	令和2年度(最大)	23	28	28	34	27	21	20	25	33	23	19	22
	過去7年間の変動幅	21~35	26~43	25~49	32~55	24~53	19~48	18~55	24~72	31~82	20~60	17~65	21~65
	地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
	年月日	中丹東條御所	舞鶴市立南前	大波下中	田中	河辺由里	栢尾大	山田	井水ヶ浦	野原	三浜		
5月22日	23	27	21	20	24	24	19	28	19	23	27		
9月25日	31	41	37	36	36	38	30	37	27	29	33		
12月10日	24	30	25	23	26	28	21	30	20	26	30		
3月2日	49	50	46	51	51	48	34	43	29	33	38		
令和2年度(最大)	49	50	46	51	51	48	34	43	29	33	38		
過去7年間の変動幅	19~41	24~41	20~35	20~33	23~39	23~42	18~38	28~55	18~40	22~45	26~40		
綾部老富地区	地点	1	2	3	4	5	6	7	8				
	年月日	上祖公民館	上林中学校	綾部市東条高等 職業訓練センター	故郷園町 岩村	老富会館	矢黒畑	下迫	在中				
	5月20日	29	31	31	39	30	21	20	24				
	9月29日	31	31	30	38	31	20	20	23				
	12月7日	31	32	30	40	32	21	20	24				
	3月8日	30	34	32	39	32	22	20	25				
	令和2年度(最大)	31	34	32	40	32	22	20	25				
	過去7年間の変動幅	26~40	25~47	29~44	37~48	29~45	19~36	18~34	22~39				
	地点	1	2	3	4	5	6						
	年月日	山良川小学校	上笠改番センター	田岡中学校	加佐中学校	綾部総合庁舎	総合運動公園						
5月12日	27	35	37	21	31	22							
9月30日	24	37	39	23	31	22							
12月1日	27	38	39	24	31	23							
3月10日	27	37	39	23	32	23							
令和2年度(最大)	27	38	39	24	32	23							
過去7年間の変動幅	24~34	34~55	35~45	21~30	28~41	20~41							

(注)1 測定値は1分間の測定値の3回分の平均値である。

2 測定値には宇宙線の寄与を含まない。

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

表2-3 つづき

福知山市区	地点	1	2	3						
	年月日	伊丹支庁夜間小学校 福知山市夜間 大支庁	福知山市夜間 大支庁	福知山市夜間 大支庁	日置小学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校
	5月15日 (曇)	37	31	35	36	27	29	32	34	29
	9月28日 (小雨)	37	31	36	36	27	31	31	35	31
	12月1日 (晴)	40	34	39	32	27	29	32	34	29
令和2年度 (最大)	3月9日 (曇)	38	31	39	37	29	32	34	38	32
	令和2年度 (最大)	40	34	39	37	29	32	34	38	32
	過去7年間の変動幅	33~44	27~40	30~45	34~46	26~34	29~37	30~37	33~44	27~44
伊根・橋北地区	地点	1	2	3						
	年月日	伊根町夜間小学校 伊根町夜間 大支庁	伊根町夜間 大支庁	伊根町夜間 大支庁	日置小学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校
	5月21日 (曇)	34	31	35	36	27	29	32	34	29
	9月28日 (曇)	34	33	37	36	27	31	31	35	31
	12月21日 (晴)	36	30	30	32	27	29	32	34	29
令和2年度 (最大)	3月11日 (晴)	35	35	38	37	29	32	34	38	32
	令和2年度 (最大)	36	35	38	37	29	32	34	38	32
	過去7年間の変動幅	31~43	29~41	34~44	34~46	26~34	29~37	30~37	33~44	27~44
宮津・栗田・由良地区	地点	1	2	3						
	年月日	智恩寺 栗田小学校 栗田小学校 栗田小学校 栗田小学校	宮津市役所 栗田中学校 栗田中学校 栗田中学校 栗田中学校	栗田中学校 栗田中学校 栗田中学校 栗田中学校 栗田中学校	日置小学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校
	5月21日 (曇)	33	37	39	47	36	30	30	36	36
	9月29日 (晴~曇~晴)	36	36	41	48	36	30	39	39	39
	12月21日 (晴~小雨)	34	38	41	40	41	32	40	40	40
令和2年度 (最大)	3月11日 (晴)	38	40	41	51	41	33	41	41	41
	令和2年度 (最大)	38	40	41	51	41	33	41	41	41
	過去7年間の変動幅	30~50	35~51	37~53	46~63	35~50	28~41	37~56	33~44	27~44
京丹波町地域	地点	1	2	3						
	年月日	カラスン上 和知中学校 和知中学校 和知中学校 和知中学校	和知中学校 和知中学校 和知中学校 和知中学校 和知中学校	和知中学校 和知中学校 和知中学校 和知中学校 和知中学校	日置小学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校
	5月12日 (曇)	35	36	25	32	40	34	36	36	36
	9月1日 (晴)	36	35	26	34	40	34	38	38	38
	12月1日 (曇~晴)	43	40	26	33	41	34	38	38	38
令和2年度 (最大)	3月2日 (雨)	51	55	45	54	59	52	59	59	59
	令和2年度 (最大)	51	55	45	54	59	52	59	59	59
	過去7年間の変動幅	32~48	32~47	22~42	29~50	37~61	30~49	33~53	33~44	27~44
南丹市美山町地域	地点	1	2	3						
	年月日	中風寺 福居 福居 福居 福居	福居 福居 福居 福居 福居	福居 福居 福居 福居 福居	日置小学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校	伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校 伊根中学校
	5月12日 (曇)	35	39	41	30	35	36	36	36	36
	9月1日 (晴)	38	41	43	32	37	37	37	37	37
	12月1日 (曇~晴)	34	40	42	32	37	37	37	37	37
令和2年度 (最大)	3月2日 (小雨~みぞれ~小雨)	66	70	65	57	58	58	58	58	58
	令和2年度 (最大)	66	70	65	57	58	58	58	58	58
	過去7年間の変動幅	29~43	29~51	35~49	29~43	32~56	32~56	32~56	32~56	32~56

(注) 前頁に同じ。

表2-3 つづき

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

京都市上瓦町10丁目地域	地点	1	2	3					
	年月日	上野前 ロードパーク	千谷橋	百合島	4	5	6	7	8
	5月14日	(晴)	54	47	38				
	9月3日	(曇)	53	46	38				
	12月2日	(晴)	58	51	43				
	3月10日	(曇)	78	77	76				
令和2年度	(最大)	58	51	43					
過去1年間の変動幅		52～60	46～52	36～43					
広河原・久多地域	地点	1	2	3	4	5	6	7	8
	年月日	花巻原地町	菅原大橋	出合橋	能見町	桜谷橋	樋之谷橋	久多川野水堤 浄水場	久多大橋
	5月14日	(晴)	41	41	46	47	42	38	40
	9月3日	(曇)	40	40	47	48	42	40	41
	12月2日	(晴)	44	42	50	49	42	40	43
	3月10日	(晴)	76	70	87	86	76	78	61
令和2年度	(最大)	44	42	50	49	42	40	43	
過去1年間の変動幅		41～48	41～48	46～54	47～54	41～49	37～45	40～49	41～48

(注) 1,2 前頁に同じ。

3 ルート10及び11は令和元年度から測定を開始。

※令和3年3月10日は代替機器(Naiシンチレーションサーベイメータ(日立アロガTCS-17))で測定のため最大から除いた。

表2-4 令和2年度浮遊じん中の放射能測定結果

単位：mBq/m<sup>3</sup>（ミリベクレル／立方メートル）

項目	測定所	年月	R2/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R3/1	2	3	年間値	過去10年間の 変動幅
全 アル ファ 放射 能	吉 坂	最大	79	112	107	101	146	155	110	124	87	60	104	77	155	18 ~ 204
		最小	0.2	0.1	0.2	<0.1	0.3	<0.1	0.1	0.2	<0.1	0.2	0.4	0.2	<0.1	<0.1 ~ 3
		平均	22	29	30	17	49	37	32	35	25	18	22	22	28	5 ~ 58
	塩 汲	最大	40	48	40	30	48	59	50	38	34	28	29	31	59	13 ~ 92
		最小	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1 ~ 6
		平均	11	14	13	7	21	16	14	14	11	8	9	8	12	3 ~ 28
全 ベ ー タ 放射 能	吉 坂	最大	114	150	160	149	205	228	168	186	124	89	158	109	228	32 ~ 303
		最小	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	0.4	<0.1	<0.1	<0.1 ~ 5
		平均	32	42	44	25	72	56	48	52	36	27	32	33	41	11 ~ 89
	塩 汲	最大	57	76	66	46	79	101	82	64	53	39	47	49	101	24 ~ 140
		最小	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1 ~ 9
		平均	16	21	20	11	32	25	23	23	18	12	14	13	19	6 ~ 42

(注) 6時間集じん、6時間放置後測定

表2-5 令和2年度ガス状ヨウ素測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	測定値
ガス状ヨウ素 (活性炭ろ紙)	吉坂測定所	令和2年5月26日	$\mu\text{Bq}/\text{m}^3$	—
		令和2年9月15日		—
		令和2年12月4日		—
		令和3年3月3日		—

(注) 測定値 $N \pm \Delta N$ において $\Delta N$ は計数誤差であり、 $N \leq 3 \times \Delta N$ のとき「検出限界以下」とし、「—」で表わしている。



# 風配図

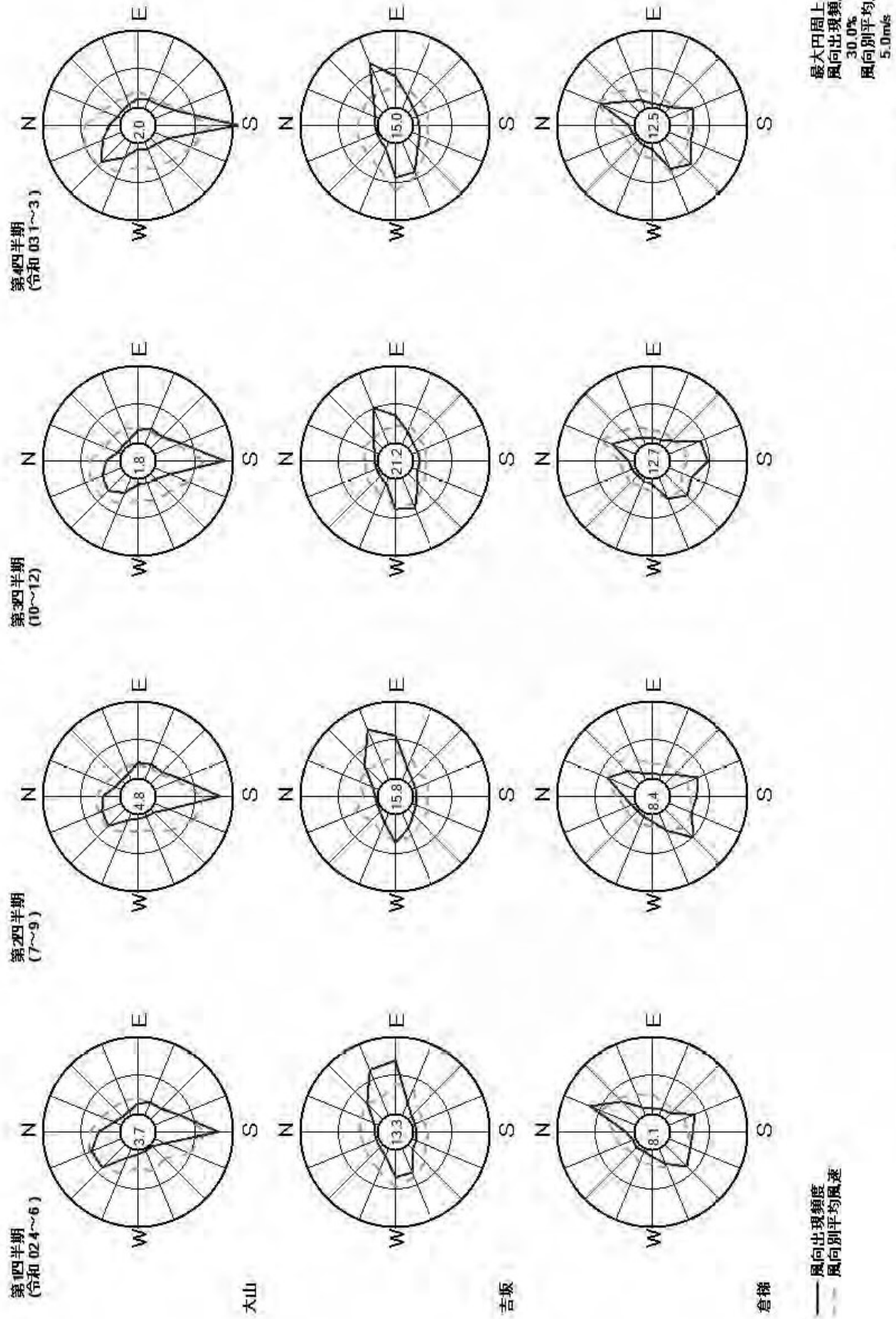


図 2-2 令和 2 年度風配図

# 風配図

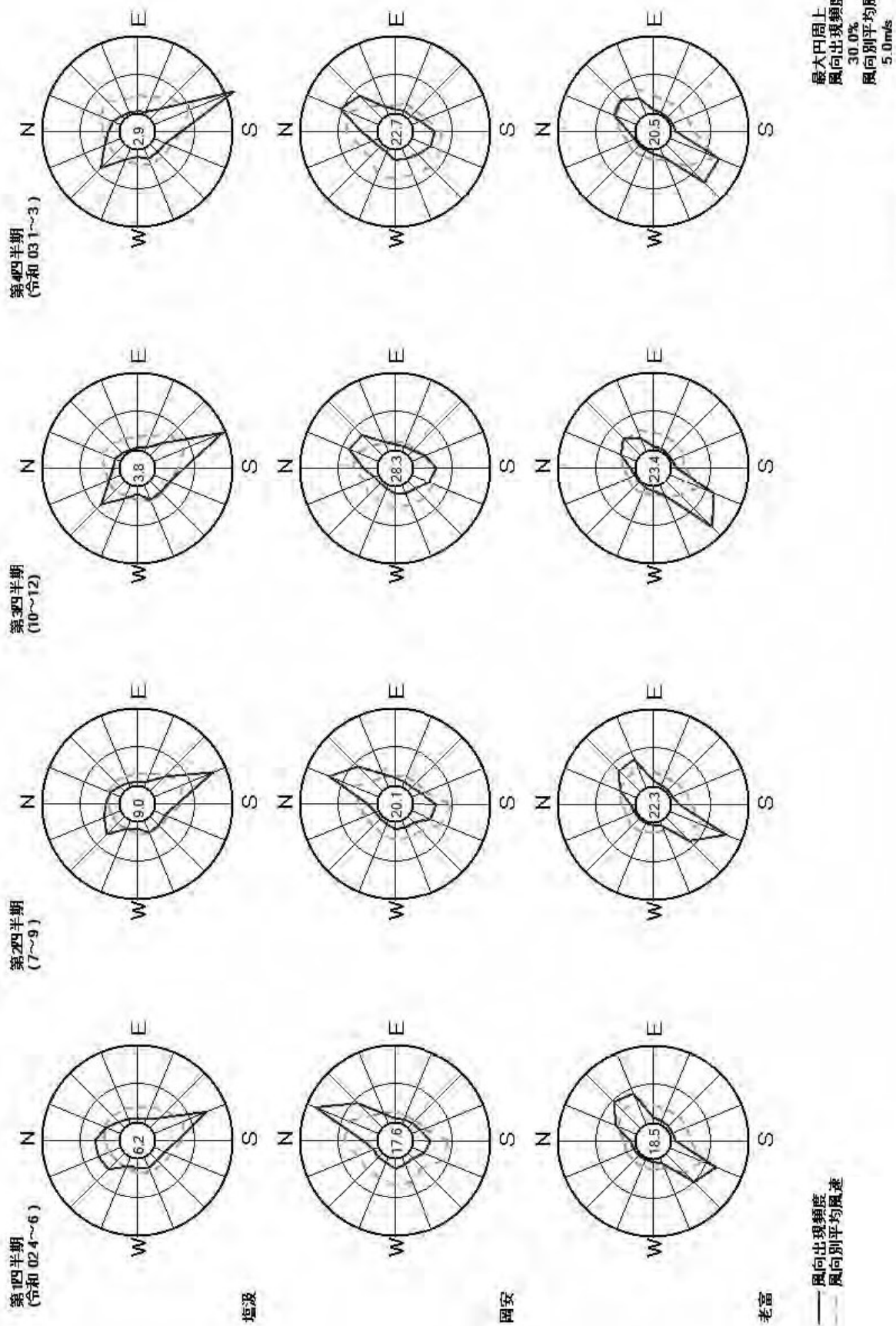
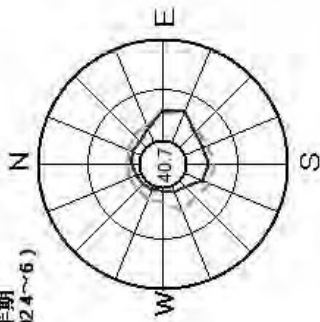


図 2-2 つづき

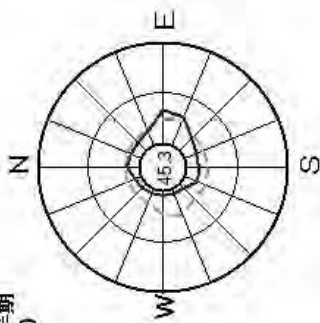
# 風配図

第1四半期  
(令和02.4~6)

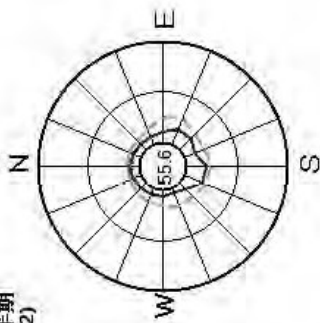


日出

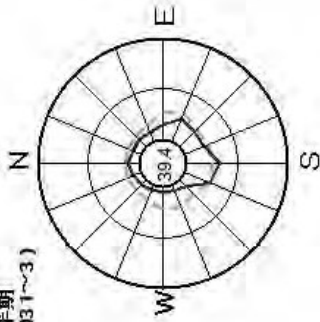
第2四半期  
(7~9)



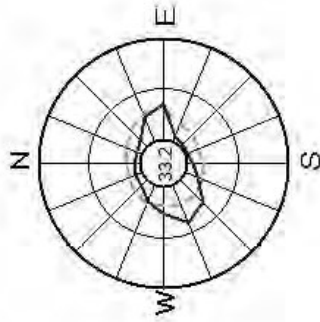
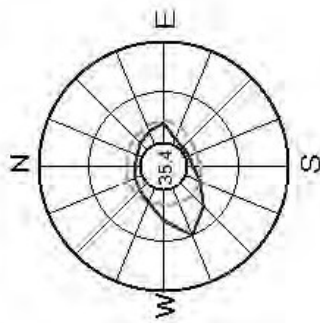
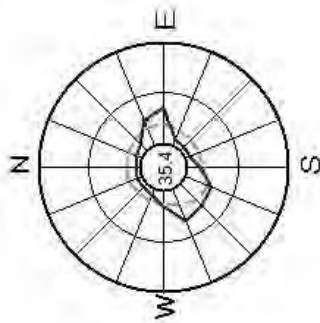
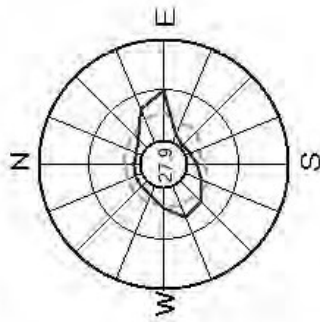
第3四半期  
(10~12)



第4四半期  
(令和03.1~3)



地頭



— 風向出現頻度  
○ 風向別平均風速

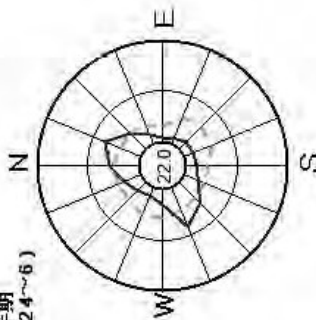
最大円周上  
風向出現頻度  
30.0%  
風向別平均風速  
5.0m/s

円中央は、静穏時(風速0.3m/s未満)の頻度

図2-2 つづき

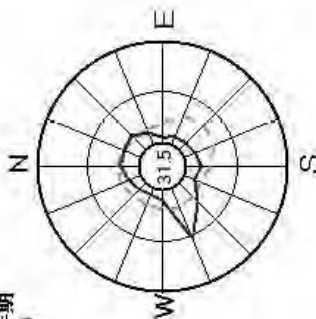
# 風配図

第1四半期  
(令和02.4~6)

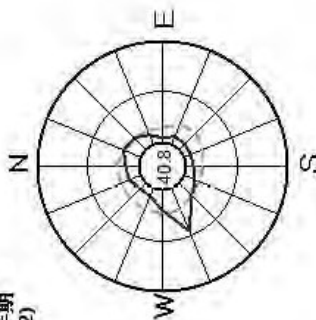


上杉

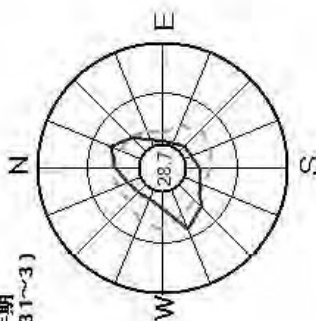
第2四半期  
(7~9)



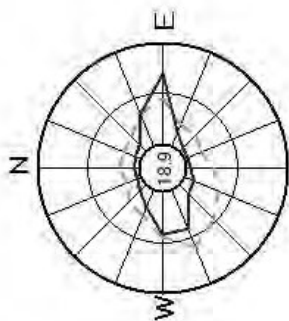
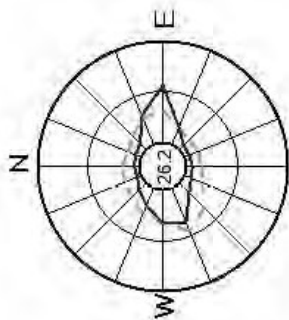
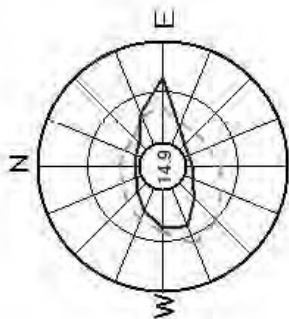
第3四半期  
(10~12)



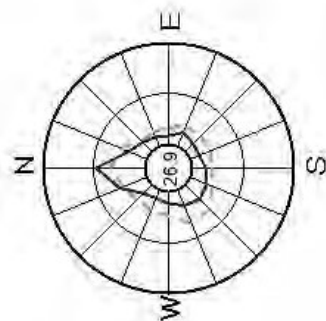
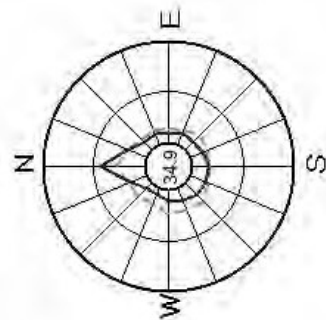
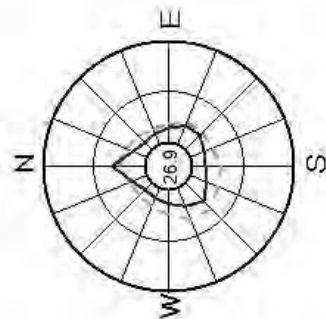
第4四半期  
(令和03.1~3)



八津台



本庄



— 風向出現頻度  
--- 風向別平均風速

最大円周上  
風向出現頻度  
30.0%  
風向別平均風速  
5.0m/s

円中央は、静穏時(風速0.3m/s未満)の頻度

図2-2 つづき

表2-6 令和2年度気温測定結果

単位：℃

測定所名 項目 年月	大 山			吉 坂			倉 梯		
	日平均値 の最高	日平均値 の最低	平均	日平均値 の最高	日平均値 の最低	平均	日平均値 の最高	日平均値 の最低	平均
R2/4	15.7	6.3	9.8	14.3	6.9	9.8	17.0	7.8	10.9
5	21.7	12.4	16.7	21.2	13.1	16.8	22.7	14.7	18.2
6	24.5	17.5	21.2	24.9	18.1	21.5	26.3	19.1	22.9
7	26.9	19.2	22.9	26.2	19.7	23.3	28.0	19.9	24.3
8	29.9	24.1	26.7	30.0	24.4	26.8	31.6	26.3	28.6
9	29.2	18.1	22.6	29.5	17.9	22.7	30.9	18.7	23.6
10	20.4	12.0	15.9	19.5	11.4	15.5	20.1	12.6	16.2
11	20.9	7.2	11.9	20.0	6.5	11.2	21.6	7.4	12.1
12	9.6	-0.7	5.2	8.9	-0.1	4.3	10.1	0.3	5.5
R3/1	9.1	-2.6	2.8	9.1	-1.4	2.5	9.9	-0.9	3.7
2	13.8	-1.8	5.2	11.6	-1.2	4.8	13.4	-0.8	6.0
3	14.7	2.5	8.8	14.7	3.6	8.6	16.3	4.4	9.6
令和2年度	29.9	-2.6	14.2	30.0	-1.4	14.0	31.6	-0.9	15.1
令和元年度	29.2	-1.1	14.6	30.3	-0.5	14.8	31.1	0.1	15.5

測定所名 項目 年月	塩 汲			岡 安			老 富		
	日平均値 の最高	日平均値 の最低	平均	日平均値 の最高	日平均値 の最低	平均	日平均値 の最高	日平均値 の最低	平均
R2/4	15.6	6.1	9.8	14.9	7.2	10.1	14.9	5.6	8.7
5	22.0	12.6	16.7	21.7	13.6	17.3	19.6	11.9	15.9
6	24.5	17.7	21.2	25.5	18.0	22.0	24.1	16.7	20.6
7	26.5	18.9	22.7	27.0	19.7	23.8	25.5	18.9	22.5
8	29.7	24.3	26.8	31.5	25.0	27.6	29.4	23.4	26.0
9	29.0	17.9	22.6	30.8	18.5	23.3	28.0	16.8	21.6
10	19.9	11.8	15.6	20.1	12.0	15.9	18.9	10.1	14.2
11	20.4	6.5	11.7	20.6	6.9	11.6	19.3	5.6	10.1
12	9.6	-1.1	4.7	9.8	0.1	4.9	7.7	-1.1	3.3
R3/1	8.8	-2.6	2.5	9.8	-0.9	3.0	7.8	-3.4	1.5
2	14.2	-2.2	5.2	11.4	-0.9	5.1	10.4	-2.4	3.6
3	14.7	2.6	8.7	15.5	3.7	8.9	14.1	1.7	7.6
令和2年度	29.7	-2.6	14.0	31.5	-0.9	14.5	29.4	-3.4	13.0
令和元年度	29.4	-1.5	14.4	30.6	-0.1	14.9	28.3	-1.8	13.4

表2-6 つづき

単位：℃

測定所名 項目 年月	日 出			地 頭			上 杉		
	日平均値 の最高	日平均値 の最低	平均	日平均値 の最高	日平均値 の最低	平均	日平均値 の最高	日平均値 の最低	平均
R2/4	15.3	6.5	10.3	18.3	8.8	12.0	16.9	7.0	10.2
5	21.4	13.6	17.2	23.6	15.7	19.5	22.2	13.8	17.8
6	25.6	18.7	21.8	27.2	20.6	24.1	26.2	18.8	22.4
7	26.3	19.6	23.4	29.0	21.4	25.6	27.1	19.8	23.9
8	30.6	24.9	27.4	32.3	27.6	29.8	30.4	25.4	27.8
9	30.2	18.6	23.4	31.7	19.5	25.0	29.7	17.4	22.9
10	20.4	12.4	16.4	21.9	12.0	17.4	20.5	10.1	15.1
11	22.1	7.9	12.4	20.4	8.7	12.7	21.1	6.4	11.1
12	10.9	0.5	5.9	10.8	2.5	6.9	9.6	0.2	4.6
R3/1	9.3	-1.7	3.4	13.0	4.1	8.6	9.5	-2.3	2.7
2	12.0	-0.1	5.8	23.7	6.4	13.4	12.5	-0.8	5.4
3	14.4	3.4	7.9	25.8	6.9	15.7	16.5	3.9	9.3
令和2年度	30.6	-1.7	14.6	32.3	2.5	17.6	30.4	-2.3	14.4
令和元年度	30.1	-0.1	15.1	33.4	1.2	17.5	29.6	-0.4	14.8

測定所名 項目 年月	八 津 合			本 庄		
	日平均値 の最高	日平均値 の最低	平均	日平均値 の最高	日平均値 の最低	平均
R2/4	16.0	6.4	9.7	16.5	6.8	10.3
5	21.6	13.4	17.5	22.1	14.1	18.0
6	25.9	18.0	22.0	26.6	18.7	22.5
7	26.6	19.8	23.8	27.1	19.6	23.9
8	30.0	25.3	27.4	30.3	25.7	27.7
9	29.1	17.2	22.7	29.3	17.4	23.1
10	19.7	10.5	14.9	20.2	10.8	15.4
11	20.1	6.3	10.8	18.6	7.0	11.0
12	9.0	-0.5	4.0	8.5	-0.2	4.7
R3/1	9.4	-3.2	2.0	9.4	-2.5	2.7
2	10.4	-1.5	4.6	11.1	-0.5	5.1
3	15.7	3.2	8.8	15.7	3.7	9.0
令和2年度	30.0	-3.2	14.0	30.3	-2.5	14.5
令和元年度	29.4	-1.1	14.5	30.3	-0.4	14.9

表2-7 令和2年度大気安定度

吉坂測定所

単位：時間数・（ ）内は%

分類 月	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	-	計
R2/4	18 (2.5)	62 (8.6)	95 (13.2)	14 (1.9)	42 (5.8)	6 (0.8)	261 (36.3)	3 (0.4)	4 (0.6)	215 (29.9)	720 (100)
5	21 (2.8)	84 (11.3)	98 (13.2)	21 (2.8)	37 (5.0)	3 (0.4)	286 (38.4)	0 (0.0)	10 (1.3)	184 (24.7)	744 (100)
6	37 (5.1)	80 (11.1)	100 (13.9)	15 (2.1)	18 (2.5)	4 (0.6)	453 (63.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (1.7)	719 (100)
7	16 (2.2)	62 (8.3)	108 (14.5)	7 (0.9)	27 (3.6)	1 (0.1)	492 (66.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	31 (4.2)	744 (100)
8	52 (7.0)	120 (16.1)	108 (14.5)	6 (0.8)	14 (1.9)	0 (0.0)	176 (23.7)	1 (0.1)	3 (0.4)	264 (35.5)	744 (100)
9	26 (3.6)	73 (10.2)	93 (12.9)	9 (1.3)	23 (3.2)	1 (0.1)	386 (53.7)	5 (0.7)	4 (0.6)	99 (13.8)	719 (100)
10	21 (2.9)	57 (7.7)	79 (10.7)	5 (0.7)	8 (1.1)	0 (0.0)	382 (51.9)	4 (0.5)	0 (0.0)	180 (24.5)	736 (100)
11	6 (0.8)	66 (9.2)	58 (8.1)	3 (0.4)	14 (1.9)	0 (0.0)	356 (49.4)	5 (0.7)	3 (0.4)	209 (29.0)	720 (100)
12	0 (0.0)	45 (6.0)	54 (7.3)	3 (0.4)	14 (1.9)	0 (0.0)	469 (63.0)	2 (0.3)	0 (0.0)	157 (21.1)	744 (100)
R3/1	2 (0.3)	34 (4.6)	58 (7.8)	9 (1.2)	15 (2.0)	8 (1.1)	457 (61.4)	11 (1.5)	8 (1.1)	142 (19.1)	744 (100)
2	8 (1.2)	47 (7.0)	52 (7.7)	8 (1.2)	25 (3.7)	5 (0.7)	413 (61.5)	4 (0.6)	1 (0.1)	109 (16.2)	672 (100)
3	17 (2.3)	52 (7.0)	88 (11.9)	8 (1.1)	23 (3.1)	6 (0.8)	353 (47.6)	6 (0.8)	2 (0.3)	187 (25.2)	742 (100)
令和2年度	224 (2.6)	782 (8.9)	991 (11.3)	108 (1.2)	260 (3.0)	34 (0.4)	4484 (51.3)	41 (0.5)	35 (0.4)	1789 (20.5)	8748 (100)
令和元年度	188 (2.3)	665 (8.2)	904 (11.1)	89 (1.1)	244 (3.0)	46 (0.6)	3799 (46.7)	48 (0.6)	38 (0.5)	2118 (26)	8139 (100)

老富測定所

単位：時間数・（ ）内は%

分類 月	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	-	計
R2/4	10 (1.4)	65 (9.0)	87 (12.1)	15 (2.1)	35 (4.9)	9 (1.3)	339 (47.1)	5 (0.7)	5 (0.7)	150 (20.8)	720 (100)
5	27 (3.6)	100 (13.4)	71 (9.5)	9 (1.2)	34 (4.6)	3 (0.4)	326 (43.8)	2 (0.3)	8 (1.1)	164 (22.0)	744 (100)
6	32 (4.4)	85 (11.8)	70 (9.7)	12 (1.7)	23 (3.2)	5 (0.7)	353 (49.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	140 (19.4)	720 (100)
7	13 (1.7)	46 (6.2)	86 (11.6)	7 (0.9)	31 (4.2)	2 (0.3)	506 (68.0)	2 (0.3)	0 (0.0)	51 (6.9)	744 (100)
8	49 (6.6)	100 (13.4)	90 (12.1)	12 (1.6)	24 (3.2)	3 (0.4)	216 (29.0)	3 (0.4)	1 (0.1)	246 (33.1)	744 (100)
9	19 (2.6)	75 (10.4)	79 (11.0)	6 (0.8)	28 (3.9)	0 (0.0)	339 (47.1)	6 (0.8)	6 (0.8)	161 (22.4)	719 (100)
10	17 (2.3)	65 (8.9)	59 (8.0)	3 (0.4)	7 (1.0)	0 (0.0)	344 (46.9)	1 (0.1)	0 (0.0)	238 (32.4)	734 (100)
11	3 (0.4)	28 (3.9)	58 (8.1)	6 (0.8)	11 (1.5)	6 (0.8)	434 (60.3)	6 (0.8)	3 (0.4)	165 (22.9)	720 (100)
12	0 (0.0)	30 (4.0)	58 (7.8)	6 (0.8)	9 (1.2)	1 (0.1)	632 (84.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (1.1)	744 (100)
R3/1	2 (0.3)	18 (2.4)	32 (4.3)	14 (1.9)	32 (4.3)	12 (1.6)	634 (85.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	744 (100)
2	10 (1.5)	34 (5.1)	50 (7.4)	7 (1.0)	27 (4.0)	12 (1.8)	499 (74.3)	0 (0.0)	1 (0.1)	32 (4.8)	672 (100)
3	15 (2.0)	56 (7.6)	71 (9.6)	11 (1.5)	24 (3.2)	5 (0.7)	408 (55.1)	6 (0.8)	0 (0.0)	144 (19.5)	740 (100)
令和2年度	197 (2.3)	702 (8.0)	811 (9.3)	108 (1.2)	285 (3.3)	58 (0.7)	5030 (57.5)	31 (0.4)	24 (0.3)	1499 (17.1)	8745 (100)
令和元年度	199 (2.3)	685 (7.8)	860 (9.8)	60 (0.7)	231 (2.6)	45 (0.5)	4845 (55.2)	31 (0.4)	15 (0.2)	1800 (20.5)	8771 (100)

表2-8 令和2年度ガンマ線放出核種分析結果

試料名	部位	採取地点	採取年月日	単位	検出された核種					
					I-131	Cs-137	Cs-134	Ag-110m	Be-7	K-40
浮遊じん	吉坂		令和2年4月1日	$\mu\text{Bq}/\text{m}^3$	—	—	—	—	$4.5 \times 10^3$	—
			～5月1日		—	—	—	$\pm 4.7 \times 10$	—	
			5月1日		—	—	—	$3.5 \times 10^3$	—	
			～6月1日		—	—	—	$\pm 3.8 \times 10$	—	
			6月1日		—	—	—	$2.2 \times 10^3$	—	
			～7月1日		—	—	—	$\pm 3.4 \times 10$	—	
			7月1日		—	—	—	$1.2 \times 10^3$	—	
			～8月1日		—	—	—	$\pm 2.5 \times 10$	—	
			8月1日		—	—	—	$2.1 \times 10^3$	—	
			～9月1日		—	—	—	$\pm 3.2 \times 10$	—	
			9月1日		—	—	—	$2.2 \times 10^3$	—	
			～10月1日		—	—	—	$\pm 3.4 \times 10$	—	
	10月1日	—	—	—	$4.1 \times 10^3$	—				
	～11月1日	—	—	—	$\pm 4.5 \times 10$	—				
	11月1日	—	—	—	$4.1 \times 10^3$	—				
	～12月1日	—	—	—	$\pm 4.6 \times 10$	—				
	12月1日	—	—	—	$3.5 \times 10^3$	—				
	～令和3年1月1日	—	—	—	$\pm 3.9 \times 10$	—				
	1月1日	—	—	—	$4.1 \times 10^3$	—				
	～2月1日	—	—	—	$\pm 4.0 \times 10$	—				
	2月1日	—	—	—	$4.8 \times 10^3$	—				
	～3月1日	—	—	—	$\pm 4.5 \times 10$	—				
	3月1日	—	—	—	$5.4 \times 10^3$	—				
	～4月1日	—	—	—	$\pm 4.3 \times 10$	—				
令和2年4月1日	老富		令和2年4月1日	$\mu\text{Bq}/\text{m}^3$	—	—	—	—	$5.2 \times 10^3$	—
～5月1日			—		—	—	$\pm 5.4 \times 10$	—		
5月1日			—		—	—	$4.1 \times 10^3$	—		
～6月1日			—		—	—	$\pm 3.9 \times 10$	—		
6月1日			—		—	—	$2.6 \times 10^3$	—		
～7月1日			—		—	—	$\pm 3.7 \times 10$	—		
7月1日			—		—	—	$1.3 \times 10^3$	—		
～8月1日			—		—	—	$\pm 3.0 \times 10$	—		
8月1日			—		—	—	$1.7 \times 10^3$	—		
～9月1日			—		—	—	$\pm 2.8 \times 10$	—		
9月1日			—		—	—	$2.5 \times 10^3$	—		
～10月1日			—		—	—	$\pm 3.5 \times 10$	—		

(注) 1 測定値N±△Nにおいて△Nは計数誤差であり、N≦3×△Nのとき「検出限界以下」であるとし、「—」で表わしている。



表2-8 つづき

試料名	部位	採取地点	採取年月日	単位	検出された核種						
					I-131	Cs-137	Cs-134	Ag-110m	Be-7	K-40	
浮遊じん	老雷		令和2年10月1日 ～11月1日	$\mu\text{Bq}/\text{m}^3$	—	—	—	—	$4.8 \times 10^3$ $\pm 4.7 \times 10$	—	
			11月1日 ～12月1日		—	—	—	$4.3 \times 10^3$ $\pm 4.3 \times 10$	—		
			12月1日 ～令和3年1月1日		—	—	—	—	$4.1 \times 10^3$ $\pm 4.4 \times 10$	—	
			1月1日 ～2月1日		—	—	—	$4.9 \times 10^3$ $\pm 4.7 \times 10$	—		
			2月1日 ～3月1日		—	—	—	$5.5 \times 10^3$ $\pm 5.2 \times 10$	—		
			3月1日 ～4月1日		—	—	—	$5.8 \times 10^3$ $\pm 4.8 \times 10$	—		
			令和2年4月1日 ～5月1日		—	—	—	$4.3 \times 10^3$ $\pm 4.6 \times 10$	—		
			5月1日 ～6月1日		—	—	—	$3.2 \times 10^3$ $\pm 4.1 \times 10$	—		
			6月1日 ～7月1日		—	—	—	$1.9 \times 10^3$ $\pm 3.3 \times 10$	—		
			7月1日 ～8月1日		—	—	—	$1.1 \times 10^3$ $\pm 2.8 \times 10$	—		
			8月1日 ～9月1日		—	—	—	$1.2 \times 10^3$ $\pm 2.5 \times 10$	—		
			9月1日 ～10月1日		—	—	—	$2.0 \times 10^3$ $\pm 3.2 \times 10$	—		
	塩波				10月1日 ～11月1日	—	—	—	—	$3.8 \times 10^3$ $\pm 4.3 \times 10$	—
					11月1日 ～12月1日	—	—	—	$3.6 \times 10^3$ $\pm 4.4 \times 10$	—	
					12月1日 ～令和3年1月1日	—	—	—	$3.2 \times 10^3$ $\pm 4.0 \times 10$	—	
					1月1日 ～2月1日	—	—	—	$3.9 \times 10^3$ $\pm 4.2 \times 10$	—	
					2月1日 ～3月1日	—	—	—	$4.4 \times 10^3$ $\pm 4.5 \times 10$	—	
					3月1日 ～4月1日	—	—	—	$5.1 \times 10^3$ $\pm 4.5 \times 10$	—	

(注) 1 測定値N±△Nにおいて△Nは計数誤差であり、N≧3×△Nのとき「検出限界以下」であるとし、「—」で表わしている。

表2-8 つづき

試料名	部位	採取地点	採取年月日	単位	検出された核種					
					I-131	Cs-137	Cs-134	Ag-110m	Be-7	K-40
降下物	雨量 (212mm)	吉坂	令和2年4月1日 ~5月1日	MBq/km <sup>2</sup>	—	3.7×10 <sup>-2</sup> ±1.2×10 <sup>-2</sup>	—	—	4.2×10 <sup>2</sup> ±1.6	2.1 ±2.0×10 <sup>-1</sup>
	雨量 (112mm)		5月1日 ~6月1日		—	—	2.5×10 <sup>2</sup> ±1.1	8.1×10 <sup>-1</sup> ±1.6×10 <sup>-1</sup>		
	雨量 (208mm)		6月1日 ~7月1日		—	—	1.5×10 <sup>2</sup> ±9.9×10 <sup>-1</sup>	6.2×10 <sup>-1</sup> ±1.5×10 <sup>-1</sup>		
	雨量 (255mm)		7月1日 ~7月31日		—	—	1.9×10 <sup>2</sup> ±1.2	—		
	雨量 (43mm)		7月31日 ~9月1日		—	—	1.9×10 <sup>2</sup> ±3.5×10 <sup>-1</sup>	3.0 ±2.0×10 <sup>-1</sup>		
	雨量 (279mm)		9月1日 ~10月1日		—	—	3.0×10 <sup>2</sup> ±1.4	—		
	雨量 (85mm)		10月1日 ~11月2日		—	—	1.9×10 <sup>2</sup> ±1.1	1.8 ±3.4×10 <sup>-1</sup>		
	雨量 (104mm)		11月2日 ~11月30日		—	—	3.2×10 <sup>2</sup> ±1.3	1.9 ±1.8×10 <sup>-1</sup>		
	雨量 (214mm)		11月30日 ~令和3年1月6日		—	—	5.8×10 <sup>2</sup> ±1.7	1.1 ±1.7×10 <sup>-1</sup>		
	雨量 (92mm)		1月6日 ~1月29日		—	—	3.8×10 <sup>2</sup> ±1.5	1.1 ±1.7×10 <sup>-1</sup>		
	雨量 (123mm)		1月29日 ~2月26日		—	—	3.7×10 <sup>2</sup> ±1.4	1.5 ±1.9×10 <sup>-1</sup>		
	雨量 (119mm)		2月26日 ~4月2日		—	—	2.9×10 <sup>2</sup> ±1.2	1.2 ±1.7×10 <sup>-1</sup>		
	雨量 (113mm)		令和2年4月1日 ~5月1日		—	—	—	1.6×10 <sup>2</sup> ±9.1×10 <sup>-1</sup>	7.1×10 <sup>-1</sup> ±1.5×10 <sup>-1</sup>	
	雨量 (95mm)		5月1日 ~6月1日		—	—	—	1.2×10 <sup>2</sup> ±7.8×10 <sup>-1</sup>	6.9×10 <sup>-1</sup> ±1.4×10 <sup>-1</sup>	
	雨量 (249mm)		6月1日 ~7月1日		—	—	—	1.2×10 <sup>2</sup> ±8.1×10 <sup>-1</sup>	6.7×10 <sup>-1</sup> ±1.5×10 <sup>-1</sup>	
	雨量 (411mm)		7月1日 ~7月31日		—	—	—	2.6×10 <sup>2</sup> ±1.2	4.8×10 <sup>-1</sup> ±1.4×10 <sup>-1</sup>	
	雨量 (89mm)		7月31日 ~9月1日		—	—	—	7.5×10 <sup>2</sup> ±6.2×10 <sup>-1</sup>	6.6×10 <sup>-1</sup> ±1.5×10 <sup>-1</sup>	
	雨量 (155mm)		9月1日 ~10月1日		—	—	—	1.2×10 <sup>2</sup> ±8.1×10 <sup>-1</sup>	—	
	雨量 (177mm)		10月1日 ~11月2日		—	—	—	9.8×10 <sup>2</sup> ±7.4×10 <sup>-1</sup>	—	

(注) 1 測定値N±△Nにおいて△Nは計数誤差であり、N≦3×△Nのとき「検出限界以下」であるととし、「—」で表わしている。

2 過去10年間の最大値

降下物：Cs-137 2.5×10±1.4×10<sup>-1</sup>

表2-8 つづき

試料名	部位	採取地点	採取年月日	単位	検出された核種							
					I-131	Cs-137	Cs-134	Ag-110m	Be-7	K-40		
降下物	雨量 (40mm)	京都市	令和2年11月2日 ～12月1日	MBq/km <sup>2</sup>	—	—	—	—	—	5.8×10	—	
	雨量 (16mm)		12月1日 ～令和3年1月4日		—	—	—	—	—	4.5×10	—	
	雨量 (52mm)		1月4日 ～2月1日		—	—	—	—	—	—	7.0×10	8.3×10 <sup>-1</sup>
	雨量 (48mm)		2月1日 ～3月1日		—	—	—	—	—	—	7.8×10	±1.5×10 <sup>-1</sup>
	雨量 (124mm)		3月1日 ～4月1日		—	—	—	—	—	—	±6.0×10 <sup>-1</sup>	4.4×10 <sup>-1</sup>
	—		—		—	—	—	—	—	—	±8.5×10 <sup>-1</sup>	±1.4×10 <sup>-1</sup>
陸水・ 源水	表層水	与保呂	令和2年11月9日	mbq/L	—	—	—	—	—	1.6×10	7.3	
	—	朝来川	11月9日	—	—	—	—	—	—	±2.0	±1.8	
陸水・ 河川水	—	上林川	5月28日	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	大松川	5月18日	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	由良川	5月22日	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	伊佐津川	5月19日	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	朝妻川	5月11日	—	—	—	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
陸土 0～5cm	—	大山	7月2日	Bq/kg乾土	—	1.1×10	—	—	—	1.3×10	6.0×10	
	—	金剛院	7月2日		±3.6×10 <sup>-1</sup>	—	—	—	—	±1.6	±3.1	
	—	岡安	7月2日		1.0×10	—	—	—	—	1.1×10	3.3×10 <sup>2</sup>	
	—	老雷	7月3日		±3.8×10 <sup>-1</sup>	—	—	—	—	±3.0	±6.6	
	—	塩汲	7月16日		1.3	—	—	—	—	1.5×10	4.9×10 <sup>2</sup>	
	—	老富Ⅱ	7月22日		±2.4×10 <sup>-1</sup>	—	—	—	—	±4.2	±8.2	
	—	岡安Ⅱ	7月16日		9.1	—	—	—	—	—	7.9×10 <sup>2</sup>	
	—	上司	7月17日		±3.1×10 <sup>-1</sup>	—	—	—	—	—	±9.3	
	—	—	—		3.5	—	—	—	—	—	3.3×10 <sup>2</sup>	
	—	—	—		±2.9×10 <sup>-1</sup>	—	—	—	—	—	±6.3	

(注) 1 測定値は△Nにおいて△Nは計数誤差であり、N≦3×△Nのとき「検出限界以下」であるととし、「—」で表わしている。

2 過去10年間の最大値

陸土：Cs-137 9.3×10±1.1

表2-8 つぎ

試料名	部位	採取地点	採取年月日	単位	検出された核種					
					I-131	Cs-137	Cs-134	Ag-110m	Be-7	K-40
米	玄米	大山	令和2年10月15日	mBq/kg生	—	—	—	—	—	$7.2 \times 10^4$ $\pm 9.7 \times 10^2$
			10月5日		—	—	—	—	$7.2 \times 10^4$ $\pm 9.1 \times 10^2$	
		10月5日	—		—	—	—	$7.4 \times 10^4$ $\pm 9.2 \times 10^2$		
		金剛院	10月5日		—	—	—	—	$7.2 \times 10^4$ $\pm 9.0 \times 10^2$	
		野原	10月15日		$4.1 \times 10^2$ $\pm 2.9 \times 10$	—	—	—	$7.6 \times 10^4$ $\pm 9.8 \times 10^2$	
大根	根	老富	10月23日	mBq/kg生	—	$8.4 \times 10$ $\pm 2.2 \times 10$	—	—	—	$6.5 \times 10^4$ $\pm 9.2 \times 10^2$
			12月10日		—	—	—	$4.8 \times 10^2$ $\pm 4.9 \times 10$	$7.6 \times 10^4$ $\pm 3.1 \times 10^2$	
		12月7日	—		—	—	—	$4.6 \times 10^2$ $\pm 5.3 \times 10$	$8.4 \times 10^4$ $\pm 3.6 \times 10^2$	
		大山	12月10日		—	—	—	$4.1 \times 10^4$ $\pm 4.4 \times 10^2$	$9.8 \times 10^4$ $\pm 7.4 \times 10^2$	
		12月7日	—		—	—	$1.7 \times 10^4$ $\pm 2.4 \times 10^2$	$1.1 \times 10^5$ $\pm 6.7 \times 10^2$		
ほうれん草	葉	大山	11月18日	mBq/kg生	—	—	—	—	$2.8 \times 10^5$ $\pm 1.1 \times 10^3$	
生椎茸	全体	大山	4月6日	mBq/kg生	—	$1.8 \times 10^3$ $\pm 1.9 \times 10$	—	—	$5.3 \times 10^3$ $\pm 1.1 \times 10^2$	$9.6 \times 10^4$ $\pm 5.1 \times 10^2$
		大山	11月18日	mBq/kg	—	$1.1 \times 10^2$ $\pm 2.6 \times 10$	—	—	—	$3.9 \times 10^5$ $\pm 2.0 \times 10^3$
小豆	全体	大山	11月30日	mBq/kg	—	—	—	—	—	$4.1 \times 10^5$ $\pm 1.9 \times 10^3$
		大山	6月30日	mBq/kg生	—	—	—	—	$2.8 \times 10^2$ $\pm 8.6 \times 10$	$1.3 \times 10^5$ $\pm 5.8 \times 10^2$
馬鈴薯	可食部	大山	6月8日	mBq/kg生	—	—	—	—	—	$1.2 \times 10^5$ $\pm 5.2 \times 10^2$
		大山	6月22日	mBq/kg生	—	—	—	—	$1.5 \times 10^3$ $\pm 7.8 \times 10$	$5.6 \times 10^4$ $\pm 3.4 \times 10^2$

(注) 1 測定値 $\pm \Delta N$ において $\Delta N$ は計数誤差であり、 $N \leq 3 \times \Delta N$ のとき「検出限界以下」であるとし、「—」で表わしている。

2 「/kg生」とは、分析前処理前の試料1kgあたりという意味である。

3 過去10年間の最大値

米：Cs-137  $6.3 \times 10^2 \pm 3.4 \times 10$

生椎茸：Cs-137  $3.0 \times 10^3 \pm 2.5 \times 10$

小豆：Cs-137  $1.4 \times 10^2 \pm 2.9 \times 10$

表2-8 つづき

試料名	部位	採取地点	採取年月日	単位	検出された核種					
					I-131	Cs-137	Cs-134	Ag-110m	Be-7	K-40
きゅうり	全体	大山	令和2年8月13日	mBq/kg生	—	—	—	—	—	$5.5 \times 10^4$ $\pm 2.5 \times 10^2$
		杉山	10月7日		—	—	—	—	$4.1 \times 10^2$ $\pm 9.9 \times 10$	$6.8 \times 10^4$ $\pm 5.3 \times 10^2$
牛乳	原乳	多祿寺	5月11日	mBq/L	—	—	—	—	—	$4.8 \times 10^4$ $\pm 7.0 \times 10^2$
		11月16日	—		—	—	—	—	$4.8 \times 10^4$ $\pm 7.5 \times 10^2$	
松葉	葉	大山	9月11日	mBq/kg生	—	—	—	—	$5.2 \times 10^4$ $\pm 2.9 \times 10^2$	$4.1 \times 10^4$ $\pm 3.2 \times 10^2$
		阿安	9月11日		—	—	—	—	$6.4 \times 10^4$ $\pm 3.5 \times 10^2$	$4.6 \times 10^4$ $\pm 3.9 \times 10^2$
		老雷	9月17日		—	—	—	—	$4.4 \times 10^4$ $\pm 2.9 \times 10^2$	$5.7 \times 10^4$ $\pm 4.2 \times 10^2$
		5月27日	$5.2 \times 10$ $\pm 1.6 \times 10$		—	—	—	$6.0 \times 10^4$ $\pm 5.1 \times 10^2$	$2.4 \times 10^5$ $\pm 1.2 \times 10^3$	
よもぎ	葉	大山	10月27日	mBq/kg生	—	—	—	—	$1.8 \times 10^5$ $\pm 9.2 \times 10^2$	$2.2 \times 10^5$ $\pm 1.4 \times 10^3$
		吉坂	5月22日		—	—	—	—	$4.1 \times 10^4$ $\pm 4.8 \times 10^2$	$2.6 \times 10^5$ $\pm 1.5 \times 10^3$
		10月28日	—		—	—	—	$1.5 \times 10^5$ $\pm 7.6 \times 10^2$	$2.0 \times 10^5$ $\pm 1.1 \times 10^3$	
		5月22日	—		—	—	—	$3.2 \times 10^4$ $\pm 3.3 \times 10^2$	$2.6 \times 10^5$ $\pm 1.1 \times 10^3$	
よもぎ	葉	杉山	10月30日	mBq/kg生	—	—	—	—	$1.2 \times 10^5$ $\pm 7.3 \times 10^2$	$2.1 \times 10^5$ $\pm 1.1 \times 10^3$
		丸山	5月27日		$4.7 \times 10$ $\pm 1.6 \times 10$	—	—	—	$6.4 \times 10^4$ $\pm 4.7 \times 10^2$	$2.7 \times 10^5$ $\pm 1.2 \times 10^3$
		10月27日	$8.8 \times 10$ $\pm 1.8 \times 10$		—	—	—	$1.5 \times 10^5$ $\pm 8.4 \times 10^2$	$2.2 \times 10^5$ $\pm 1.2 \times 10^3$	
		5月28日	—		—	—	—	$1.1 \times 10^5$ $\pm 7.6 \times 10^2$	$2.8 \times 10^5$ $\pm 1.3 \times 10^3$	
よもぎ	老雷	老雷	10月23日	mBq/kg生	—	—	—	—	$2.6 \times 10^5$ $\pm 8.4 \times 10^2$	$1.9 \times 10^5$ $\pm 9.7 \times 10^2$
		5月28日	$5.8 \times 10$ $\pm 1.5 \times 10$		—	—	—	—	—	

(注) 1、2 前頁に同じ。

3 過去10年間の最大値

よもぎ: Cs-137  $5.5 \times 10^2 \pm 2.1 \times 10$

表2-8 つづき

試料名	部位	採取地点	採取年月日	単位	検出された核種						
					I-131	Cs-137	Cs-134	Ag-110m	Be-7	K-40	
めばる	全身	毛島沖	令和2年4月17日	mBq/kg生	—	6.8×10 ±1.7×10	—	—	—	—	7.8×10 <sup>4</sup> ±8.6×10 <sup>2</sup>
		馬立島沖	4月17日		—	7.0×10 ±1.7×10	—	—	—	—	8.5×10 <sup>4</sup> ±9.0×10 <sup>2</sup>
		田井地先	4月17日		—	7.5×10 ±1.7×10	—	—	—	—	7.8×10 <sup>4</sup> ±8.6×10 <sup>2</sup>
さざえ	むき身	毛島沖	7月2日	mBq/kg生	—	—	—	—	4.4×10 <sup>3</sup> ±2.3×10 <sup>2</sup>	8.9×10 <sup>4</sup> ±6.8×10 <sup>2</sup>	
		馬立島沖	7月2日		—	3.1×10 ±9.9	—	—	4.5×10 <sup>3</sup> ±2.0×10 <sup>2</sup>	9.0×10 <sup>4</sup> ±6.9×10 <sup>2</sup>	
		田井地先	7月2日		—	—	—	—	4.9×10 <sup>3</sup> ±2.0×10 <sup>2</sup>	8.7×10 <sup>4</sup> ±6.8×10 <sup>2</sup>	
なまこ	全身	毛島沖	4月7日	mBq/kg生	—	—	—	—	3.9×10 <sup>2</sup> ±9.9×10	2.5×10 <sup>4</sup> ±3.4×10 <sup>2</sup>	
		馬立島沖	4月7日		—	—	—	—	9.9×10 <sup>2</sup> ±1.4×10 <sup>2</sup>	2.5×10 <sup>4</sup> ±3.4×10 <sup>2</sup>	
		田井地先	4月7日		—	2.3×10 ±7.2	—	—	1.1×10 <sup>3</sup> ±1.3×10 <sup>2</sup>	2.4×10 <sup>4</sup> ±3.3×10 <sup>2</sup>	
わかめ	除根	毛島沖	4月10日	mBq/kg生	—	—	—	—	6.9×10 <sup>2</sup> ±1.7×10 <sup>2</sup>	2.1×10 <sup>5</sup> ±1.1×10 <sup>3</sup>	
		馬立島沖	4月10日		—	—	—	—	9.7×10 <sup>2</sup> ±1.5×10 <sup>2</sup>	2.0×10 <sup>5</sup> ±1.1×10 <sup>3</sup>	
		田井地先	4月10日		—	—	—	—	9.1×10 <sup>2</sup> ±1.7×10 <sup>2</sup>	2.1×10 <sup>5</sup> ±1.1×10 <sup>3</sup>	
あじ	全身	田井沖	11月5日	mBq/kg生	—	1.2×10 <sup>2</sup> ±1.4×10	—	—	—	1.2×10 <sup>5</sup> ±8.8×10 <sup>2</sup>	
あおりいか	全身	田井沖	11月5日	mBq/kg生	—	—	—	—	—	1.0×10 <sup>5</sup> ±7.5×10 <sup>2</sup>	
うまつらはぎ	全身	田井沖	6月23日	mBq/kg生	—	—	—	—	—	—	9.7×10 <sup>4</sup> ±7.3×10 <sup>2</sup>

(注) 1、2 前頁に同じ。

3 過去10年間の最大値

めばる：Cs-137 1.0×10<sup>2</sup>±2.0×10

さざえ：Cs-137 5.7×10±1.1×10

なまこ：Cs-137 1.7×10<sup>2</sup>±1.7×10

あじ：Cs-137 1.3×10<sup>2</sup>±1.5×10

表2-8 つづき

試料名	部位	採取地点	採取年月日	単位	検出された核種					
					I-131	Cs-137	Cs-134	Ag-110m	Be-7	K-40
するめいか	全身	田井沖	令和2年5月8日	mBq/kg生	—	—	—	—	$6.5 \times 10^2$ $\pm 1.6 \times 10^2$	$1.1 \times 10^5$ $\pm 7.1 \times 10^2$
			7月13日	mBq/kg生	—	$5.3 \times 10$ $\pm 1.2 \times 10$	—	—	$1.5 \times 10^3$ $\pm 2.5 \times 10^2$	$1.4 \times 10^5$ $\pm 9.0 \times 10^2$
ほんだわら	除根	毛島沖 馬立島沖	4月10日	mBq/kg生	—	—	—	—	$2.7 \times 10^3$ $\pm 7.6 \times 10^2$	$2.5 \times 10^5$ $\pm 1.5 \times 10^3$
			4月10日	mBq/kg生	—	$1.1 \times 10^2$ $\pm 2.3 \times 10$	—	—	$7.2 \times 10^3$ $\pm 2.6 \times 10^2$	$3.0 \times 10^5$ $\pm 1.7 \times 10^3$
			4月10日	mBq/kg生	—	—	—	—	$5.2 \times 10^3$ $\pm 2.4 \times 10^2$	$2.7 \times 10^5$ $\pm 1.6 \times 10^3$
海水	表層水	St. 3	8月7日	mBq/L	—	1.6	—	—	$4.9 \times 10$ $\pm 1.4 \times 10$	—
			令和3年2月5日	mBq/L	—	$\pm 5.2 \times 10^{-1}$ 1.9 $\pm 3.7 \times 10^{-1}$	—	—	$1.9 \times 10$ $\pm 4.6$	—
海底沈積物	表層土	St. 1	令和2年8月7日	Bq/kg乾土	—	1.5	—	—	—	$4.6 \times 10^2$ $\pm 7.6$
			令和3年2月5日	Bq/kg乾土	—	$\pm 2.4 \times 10^{-1}$ 1.7 $\pm 2.0 \times 10^{-1}$	—	—	—	$4.6 \times 10^2$ $\pm 7.0$
			令和2年8月7日	Bq/kg乾土	—	1.6	—	—	—	$5.6 \times 10^2$ $\pm 8.1$
	St. 2	令和3年2月5日	Bq/kg乾土	—	$\pm 2.5 \times 10^{-1}$ 1.5 $\pm 1.7 \times 10^{-1}$	—	—	—	—	$5.5 \times 10^2$ $\pm 7.3$
		令和2年8月7日	Bq/kg乾土	—	2.0	—	—	—	—	$3.5 \times 10^2$ $\pm 6.9$
		令和3年2月5日	Bq/kg乾土	—	$\pm 2.4 \times 10^{-1}$ 1.4 $\pm 1.7 \times 10^{-1}$	—	—	—	—	$3.5 \times 10^2$ $\pm 6.1$

(注) 1、2 前頁に同じ。

3 過去10年間の最大値

ほんだわら：Cs-137 検出限界以下

海水：Cs-137  $2.5 \pm 4.4 \times 10^{-1}$

海底沈積物：Cs-137  $3.3 \pm 2.5 \times 10^{-1}$

表2-9 令和2年度トリチウム分析結果（陸水、海水）

試料名	部位	採取地点	採取年月日	トリチウム濃度 (Bq/L)	気温(°C)	水温(°C)
陸水	源水	与保呂水源	令和2年11月9日	—	13.0	14.0
	河川水	表層水	朝来川	11月9日	—	16.0
上林川		5月28日	—	24.8	17.0	
大松川		5月18日	—	16.0	14.0	
由良川		5月22日	—	20.8	18.2	
伊佐津川		5月19日	—	18.2	19.7	
朝妻川		5月11日	—	24.0	21.8	
St.1			—	14.1	13.1	
St.2			—	12.6	13.0	
St.3-1			—	16.4	13.7	
St.3-2			—	14.9	14.6	
海水	表層水	St.1		—	24.5	21.6
		St.2		—	25.4	20.8
		St.3-1		—	25.0	21.2
		St.3-2		—	24.2	22.3
		St.1		—	29.5	27.2
		St.2		—	30.0	27.4
		St.3-1		—	30.0	26.3
		St.3-2		—	30.5	26.8
		St.1		—	24.2	23.5
		St.2		—	23.4	23.5
		St.3-1		—	23.4	23.7
		St.3-2		—	20.7	23.6
		St.1		—	9.9	14.7
		St.2		—	10.2	14.9
St.3-1		—	10.4	14.7		
St.3-2		—	13.5	14.8		
St.1		—	7.8	11.8		
St.2		—	8.8	11.9		
St.3-1		—	9.5	11.9		
St.3-2		—	12.5	12.2		
過去10年間の最大値				11 Bq/L		

(注) 測定値N±△Nにおいて△Nは計数誤差であり、N≦3×△Nのとき「検出限界以下」であるとし、「—」で表している。「---」は、未測定。



表2-10 令和2年度ストロンチウム-90分析（放射化学分析）結果

試料名	部位	採取地点	採取年月日	単位	Sr-90濃度	過去10年間の最大値
陸水	河川水	朝来川	令和2年5月27日	mBq/L	1.3 ± 0.21	令和2年度のみ
		大松川	令和2年5月18日		1.3 ± 0.23	
		由良川	令和2年5月22日		1.1 ± 0.20	
		伊佐津川	令和2年5月19日		1.2 ± 0.20	
		朝妻川	令和2年5月11日		0.91 ± 0.18	
陸土	0～5 cm	塩汲	令和2年7月16日	Bq/kg乾土	0.43 ± 0.092	令和2年度のみ
		岡安Ⅱ	令和2年7月16日		0.40 ± 0.092	
		老富Ⅱ	令和2年7月22日		1.1 ± 0.13	
		上司	令和2年7月17日		0.28 ± 0.084	
		大山	令和2年10月15日		—	
米	玄米	多祿寺	令和2年11月16日	mBq/kg生	—	—
牛乳	原乳	大山	令和2年5月27日	mBq/L	180 ± 10	890
			令和2年10月27日		350 ± 15	
よもぎ	葉	吉坂	令和2年5月22日	mBq/kg生	260 ± 13	770
			令和2年10月28日		370 ± 14	
めばる	全身	毛島沖	令和2年4月17日		—	29
なまこ	全身	毛島沖	令和2年4月7日		—	—
ほんだわら	除根	毛島沖	令和2年4月10日		44 ± 12	89

(注) 1 測定値N±ΔNにおいてΔNは計数誤差であり、 $N \leq 3 \times \Delta N$ のとき「検出限界以下」であるととし、「-」で表している。

2 「kg生」は、分析前処理前の試料1kgあたりという意味である。

表2-11 令和2年度ブルトニウム分析結果

試料名	部位	採取地点	採取年月日	単位	<sup>238</sup> Pu濃度	<sup>239</sup> Pu+ <sup>240</sup> Pu濃度	<sup>238</sup> Pu濃度の過去10年間の変動幅	<sup>239</sup> Pu+ <sup>240</sup> Pu濃度の過去10年間の変動幅
陸土	0～5cm	塩汲	令和2年7月16日	Bq/kg乾土	—	0.099 ± 0.014	令和2年度のみ	令和2年度のみ
		岡安Ⅱ	令和2年7月16日		—	0.073 ± 0.010		
		老富Ⅱ	令和2年7月22日		—	0.45 ± 0.029		
		上司	令和2年7月17日		—	—		
海底沈積物	表層土	St.1	令和2年8月7日	Bq/kg乾土	0.016 ± 0.0044	0.93 ± 0.048	0.012 ～ 0.021	0.95 ～ 1.1
		St.2			—	0.89 ± 0.046	0.010 ～ 0.019	0.76 ～ 1.0
		St.3			0.014 ± 0.0042	1.1 ± 0.057	— ～ 0.027	1.0 ～ 1.2
米	玄米	大山	令和2年10月15日	Bq/kg生	—	—	—	—
		杉山	令和2年10月5日		—	—	—	—

(注) 1 測定値N±ΔNにおいてΔNは計数誤差であり、N≦3×ΔNのとき「検出限界以下」であるとし、「—」で表している。

2 「kg生」は、分析前処理前の試料1kgあたりという意味である。

表2-12 被ばく線量の評価

		評 価 値														
		単位 mSv/y(ミリシーベルト/年)														
外部被ばく線量		0.001														
項 目	1日当たりの摂取量	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>54</sup> Mn	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>103</sup> Ru	<sup>106</sup> Ru	<sup>141</sup> Ce	<sup>144</sup> Ce	<sup>131</sup> I	<sup>3</sup> H	<sup>90</sup> Sr	<sup>239</sup> Pu	計
内 部 被 ば く 線 量	空 気 (浮遊じん)	22.2m <sup>3</sup>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	/	/	-
	飲 料 水	2.65L	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.001	/	<0.001
	米	250g	-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	/	-	-	<0.001
	葉 菜	100g	-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	/	<0.001	/	<0.001
	牛 乳	200mL	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	-
	魚	200g	-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	<0.001
	無脊椎動物	20g	-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	/	-	/	<0.001
	海 藻	40g	-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	/	<0.001	/	<0.001
	計		-	-	<0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.001	-

(注) 1 外部被ばく線量: (放射線測定所6局の空間線量率測定値において、一定の変動幅(平均値+標準偏差の3倍)を超過した線量の年間積算値の最大値)×0.8\*

環境放射線モニタリングにおいて対象としているγ線のエネルギー範囲では、空間放射線量(μ Gy)から外部被ばくによる実効線量(μ Sv)を求める場合には、原則として、空間放射線量(μ Gy)に0.8を乗ずることとする。

2 内部被ばく線量: 核種分析により検出された人工放射性核種の最大値を用いて「平常時モニタリングについて(原子力災害対策指針補足参考資料)」(原子力規制庁監視情報課、平成30年4月)の計算式により試算した預託実効線量(全量)

3 「-」は検出されなかった。

4 原子炉等施設からの放射能による、公衆中の個人に対する年間の実効線量限度は、「原子炉等規制法」で1mSv/yと定められている。